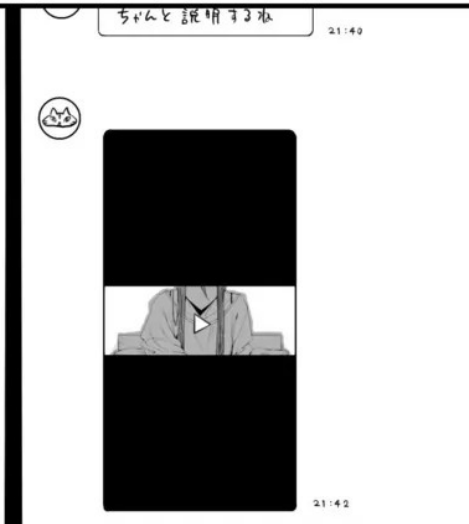
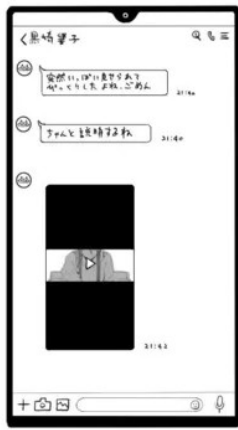




迫  
ら  
れ  
た  
ら  
ば

息  
子  
の  
嫁  
に



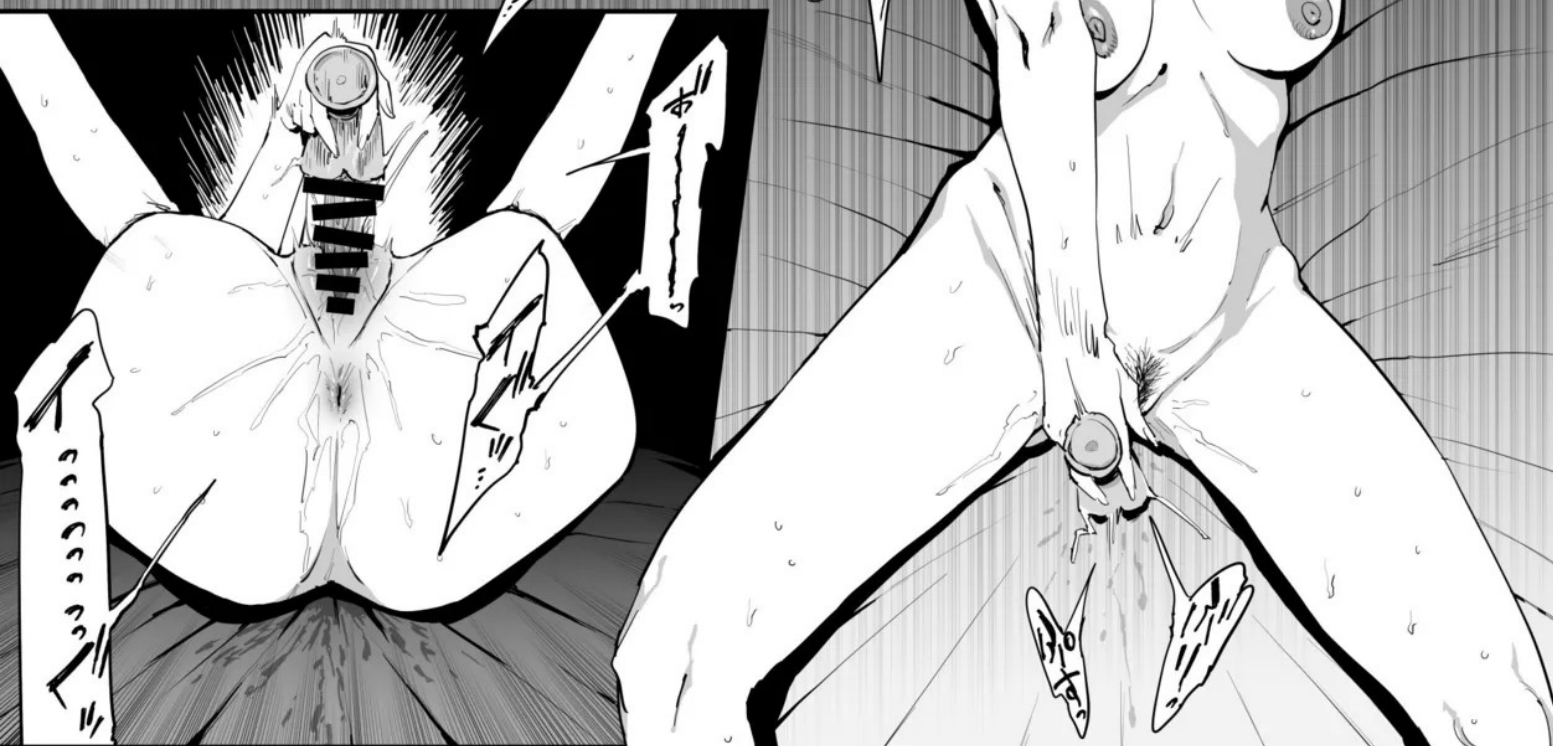
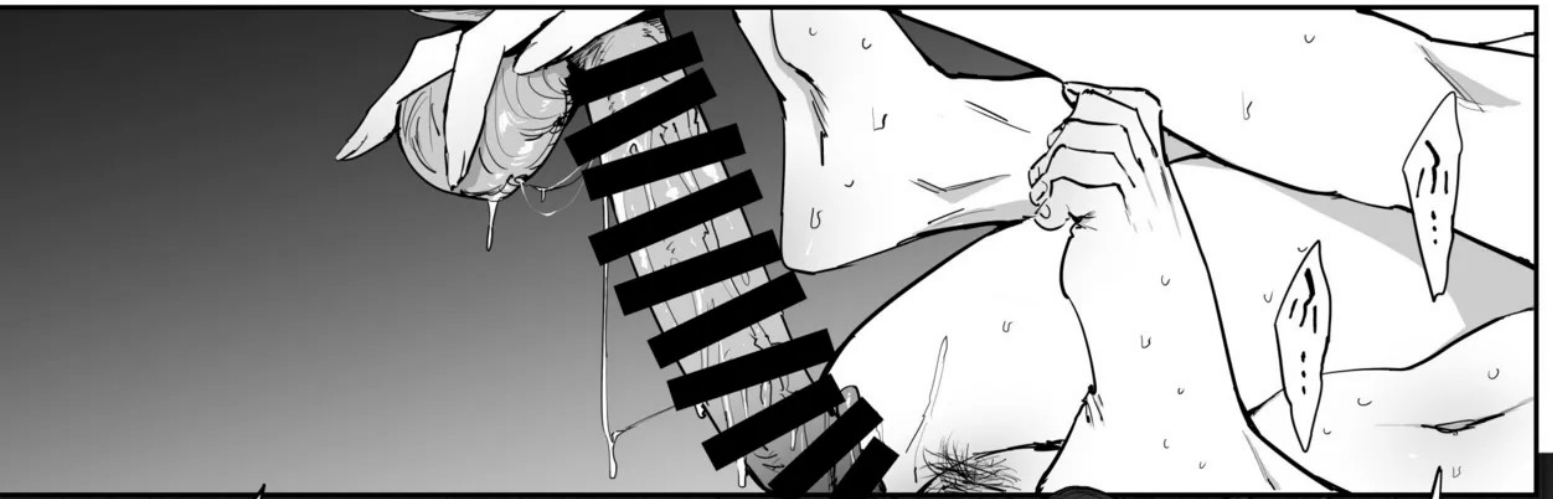
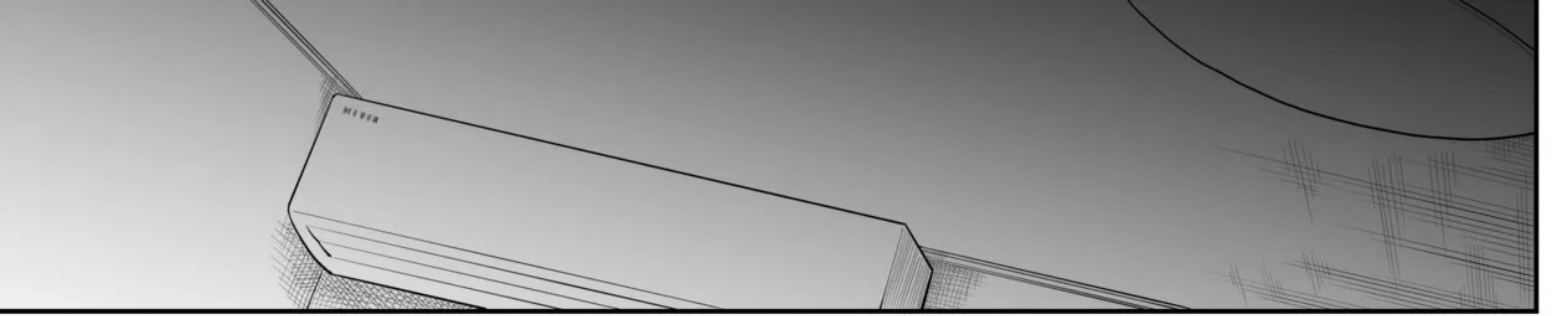


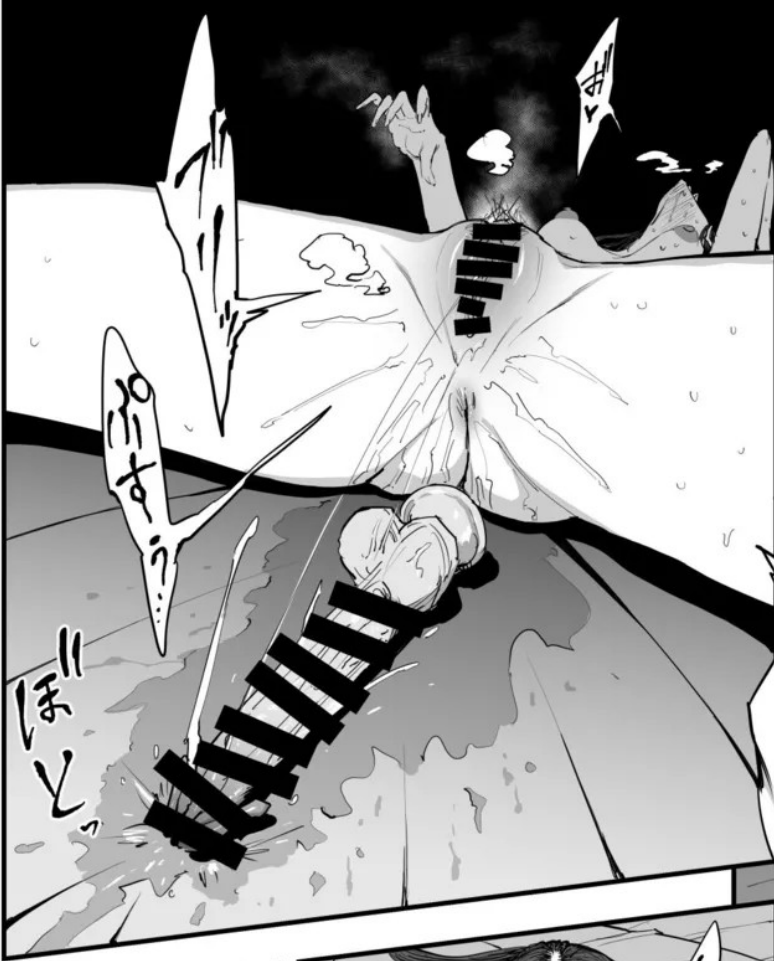


拝啓  
あなたへ

きっかけは  
数か月前まで遡さかのぼります

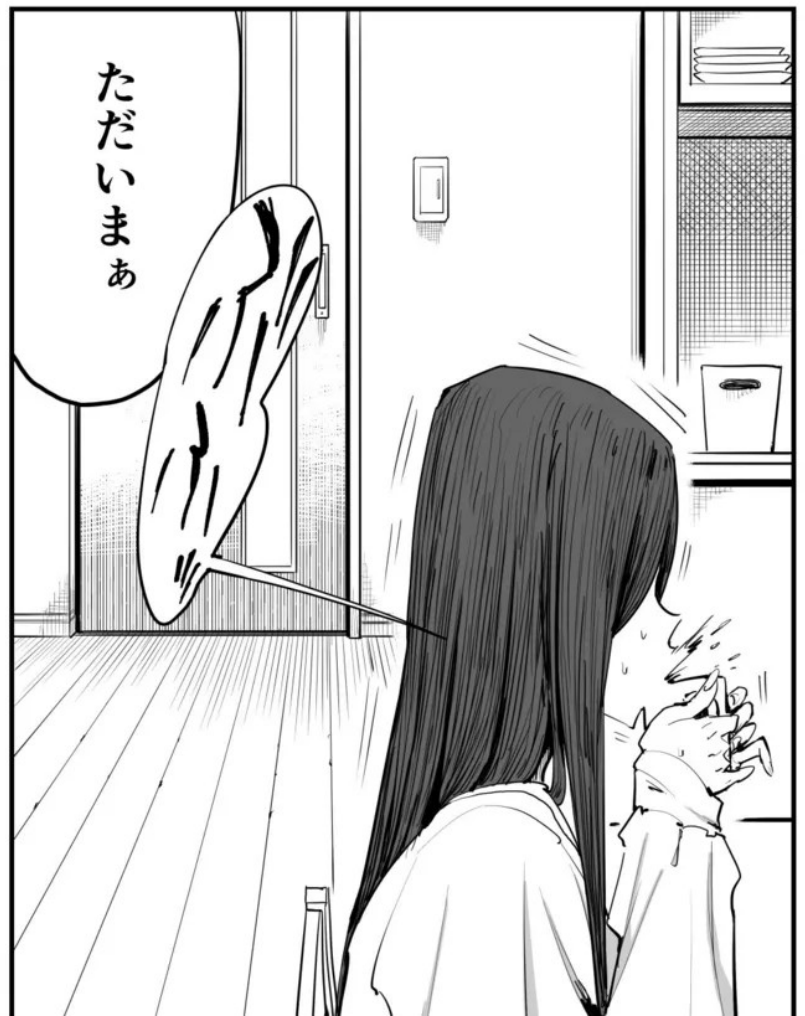
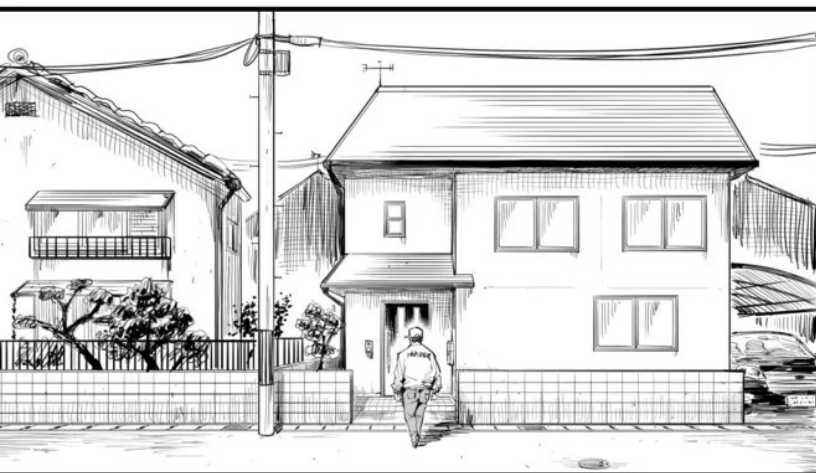






二ヶ月が  
経った

夫の  
単身赴任から





お風呂  
入れましょうか

ああ頼む

服の中が  
ベタベタだ...



朝から暑くて  
参ったよ...

いやあ...

もう季節は  
秋だっのに...



少し前からだった




意識して  
しまっていた



どこか  
満たされない  
日々のなか

義父も歴れっきとした  
男なのだということ





まだ夫がこちらに  
居た頃  
夫婦の営みは  
それなりにあった

性欲の強さは  
自認していた

多くはなかったが  
それでも週に全く  
ということはない

物足りなさはあったが  
それは一人で解決できる  
程度の小さな欲求だった

夫が赴任しても  
平気だと  
思っていた

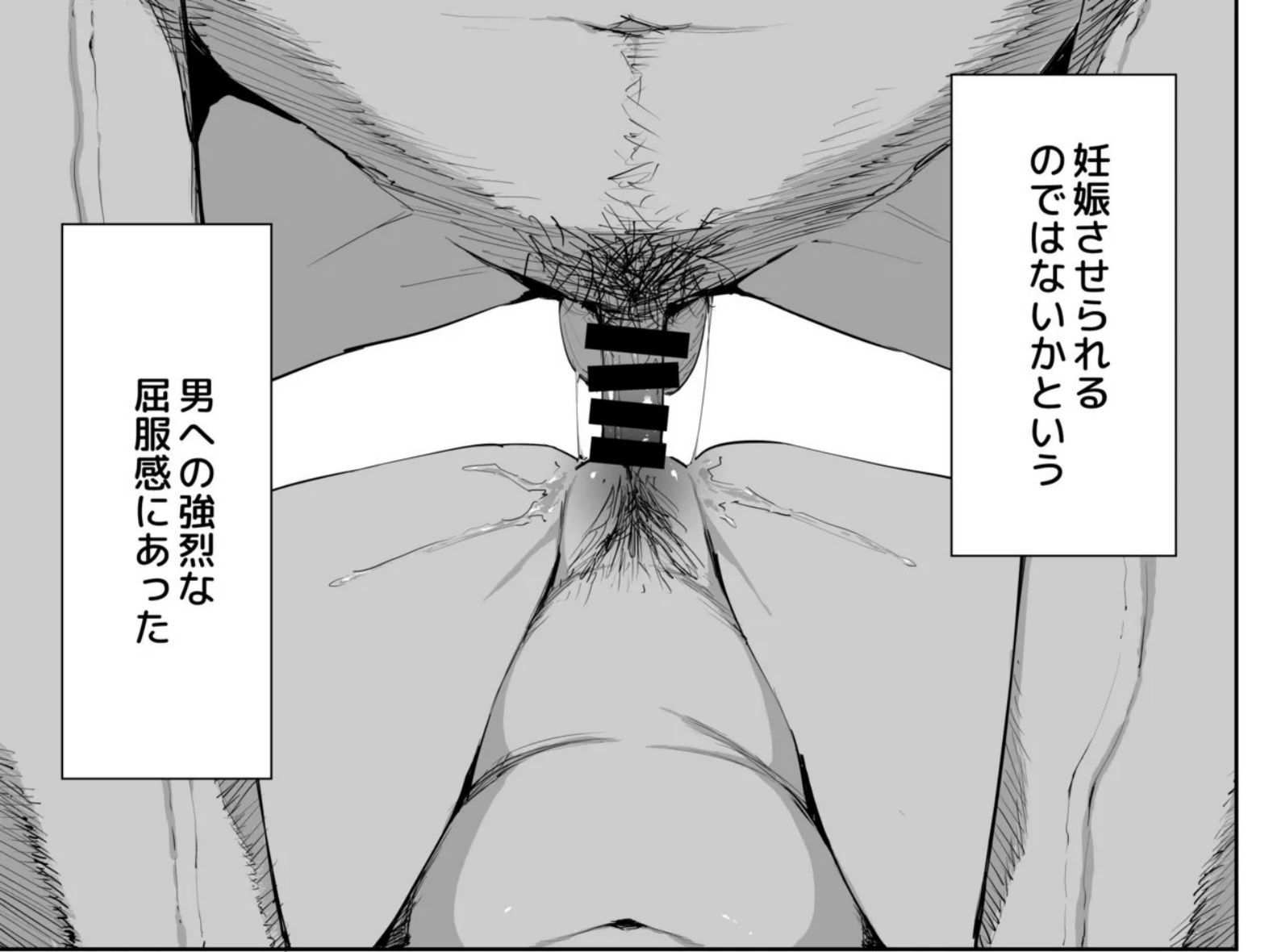
ただ  
一人での回数が  
増えるだけの  
ことだろうと

甘かった

回数と逆行  
するように欲求は  
増していった


分かったこと

求めていたことは




妊娠させられる  
のではないかという

男への強烈な  
屈服感にあった

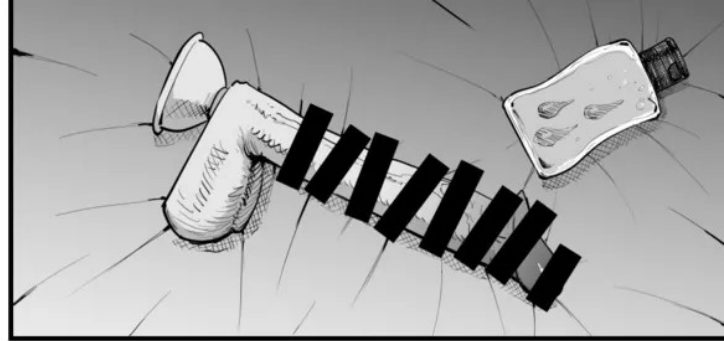


女である自分が  
敵うはずもない  
筋力で組み伏せられ

本能に任せて  
血走った男根を  
突き立てられる



玩具で代用など  
利くはずがなかった



義父を  
夫の父親ではなく  
一人の男として  
認識するようになって



一ヶ月



正常な思考は  
とくに性欲に  
支配されていた

おかずは決まって



義父との  
まぐわいの妄想



「抱いてもらおう」

有り得ないと  
思っていた言葉が  
現実味を帯びる



義父が帰るのを  
待った



回りくどいのは  
苦手だった



開き直ればば  
行動は早かった



全く秋は  
どこへやら  
はははっ

うゝ寒い寒い  
すっかり冷えて  
冬本番だなあ



お  
響子さん  
いたのか  
ただいまあ

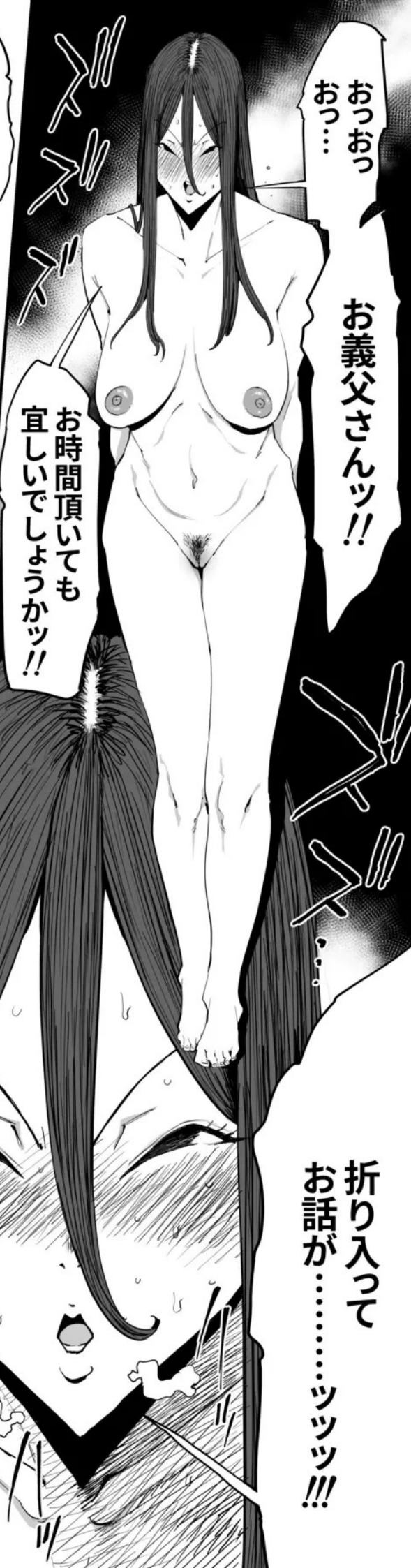




はッ  
話……!?

いや待って待って……!  
その前に……  
何なんだ  
その格好は……!!

あ



おっおっ  
おっ……

お義父さんッ!!

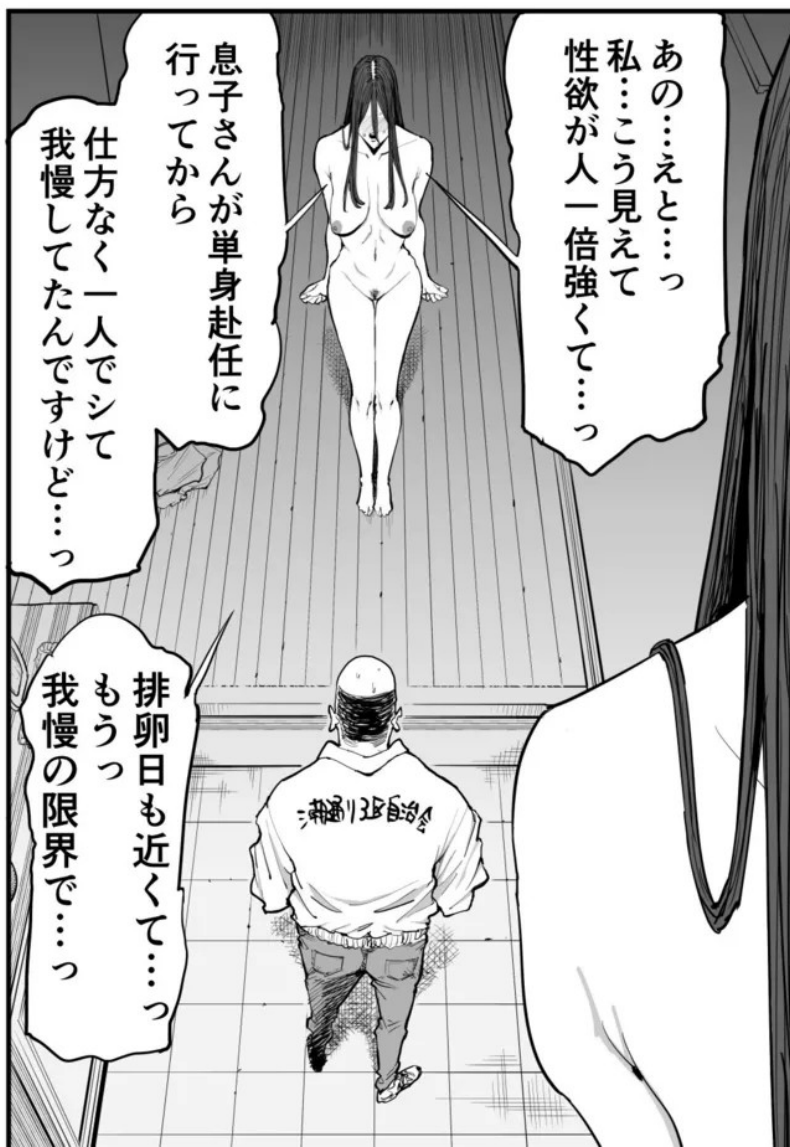
お時間頂いても  
宜しいでしょうかッ!!



実はそのことで  
ご相談が……

そのこと  
……!?!?

な……  
なんだ  
一体……



あの……えと……っ  
私……こう見えて  
性欲が人一倍強くて……っ

息子さんが単身赴任に  
行ってから

仕方なく一人でして  
我慢してたんですけど……っ

排卵日も近くて……っ  
もうっ  
我慢の限界で……っ

折り入って  
お話が………ツツツ!!!



単刀直入に言うと

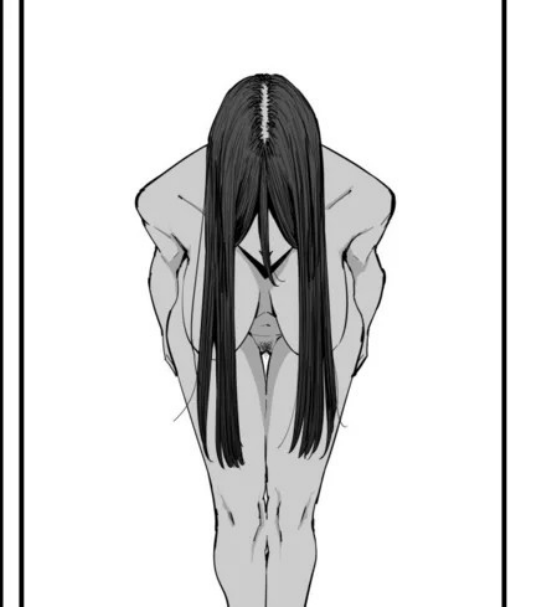
私の体は好きに使って頂いても構いませんので...

お...お義父さんの  
あの...その...ち

ちんつ  
ちちち



あ●ぽで  
おま●こ  
犯していただけないでしようかツツ!!!



大馬鹿者があ!!!

この…

いいか…!!  
仮にも僕は  
元警察官…!!

今でも子供達の  
見守りを  
預かっている  
身だ…!!

近所で名前の  
知らん子は  
おらんツ!!

親もだツ!!

不逞や  
不貞とは  
無縁の  
人生を  
送って  
きた…!!

その僕が  
当事者に  
なるなど  
…

言語  
道断  
…!!!

ましてや…  
むむ…息子の  
嫁と…

そんなこと近所で  
噂にでもなれば  
どうなるかも  
想像できんのかツ!!

これまで周囲に  
築いてきた  
信用信頼を棄てて

僕に  
その体を  
選べと…!?

馬鹿なことを…  
有り得ん…ツ!!!

…



私…旦那の親の前で  
何してんだ…っ

これじゃただの  
露出狂の変態女……っ



そ…



そうよね…  
やっぱり  
そうなるわよね…  
当然……

ス…

あ、やばい  
怒られて  
冷静になつてきた



ああ私…  
取り返しの  
つかないの  
こと………

…ん？

あれ？  
お義父さ

まったく……

毎日毎日  
こんな乳ぶら下げて  
家の中歩き回り  
やがって……



犯罪だ犯罪♥

公然わいせつ罪で  
逮捕するっ♥

ごめなさ

謝って済むなら警察は  
いらねえんだよっ♥

わしが  
罰してやるっ♥



え、あの  
それは  
つまり

ち…  
ちんぽして  
いただけ  
という…?



当たり前だろっ♥  
こんな身体野放しにして  
治安が乱れたら  
どうするつもりだっ♥

この町を  
汚すものは  
わしが許さんっ♥

わしが正すっ♥

や…  
やった…

なんかうまく  
いっちゃった…





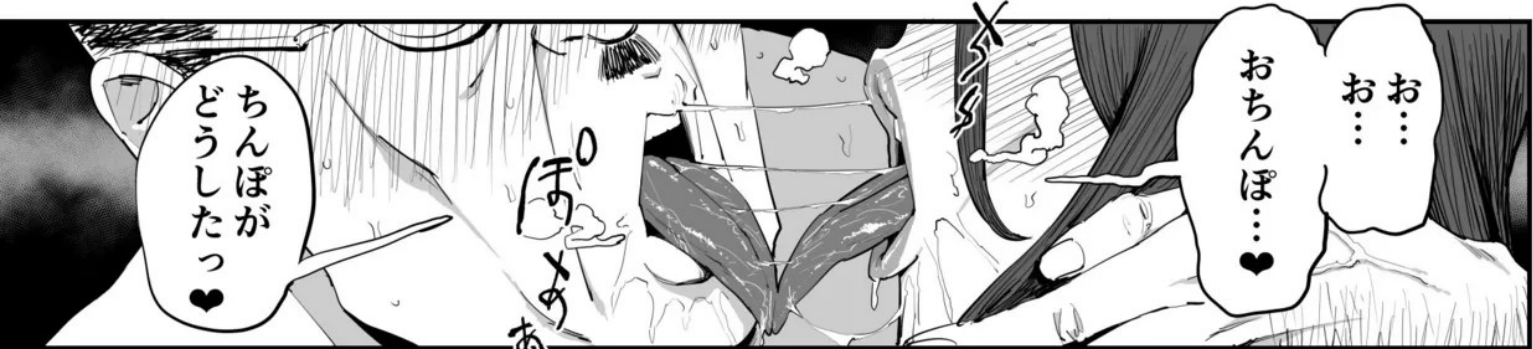
おらっ♥響子っ♥  
どうしたいっ♥  
どうしたいんだよっ♥

このスケベな身体で  
何ができるんだっ♥



意外とお義父さんも  
こういうの好き  
だったのかも

よかったっ♥



ちんぽが  
どうしたっ♥

おちんぽ…♥

お…



じゃあ  
やれっ♥

ほほおん

はいっ♥



おちんぽ  
しゃぶれますっ!!!♥

あり  
ますっ♥

自信あり気な  
言い方だなあ?

夫は5分と  
もちませんっ♥

ほお♥



あ  
響子♥  
わし包茎だから  
優しくなっ♥

唾液をローション  
みたいにして  
剥いてくれ♥

はっっっ♥

あ  
ん  
ん  
ん



あっ♥あっ♥  
皮の間に舌がっ♥

あ  
ん  
ん  
ん



あ  
ん  
ん  
ん  
ん

やばっっ♥

やばい  
やばい  
やばい  
やばい

自分が女<sup>ス</sup>で  
あることを  
自覚させられる

この臭いっ♥

このカタチっ♥

ずっと  
飢えてた

三ヶ月ぶりの  
生ちんぽ♥

ちんぽ♥

ちんぽ♥

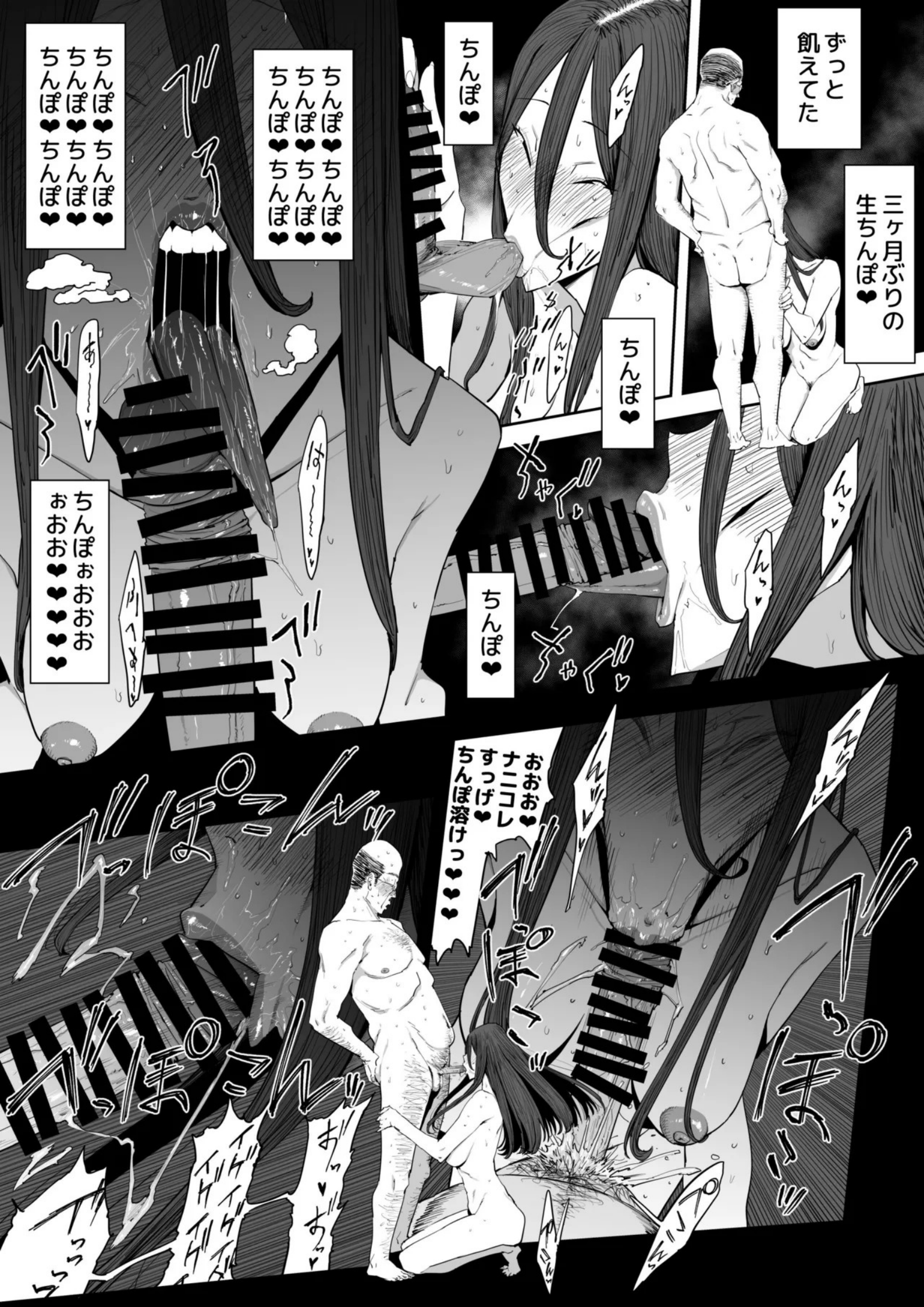
ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥

ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥  
ちんぽ♥

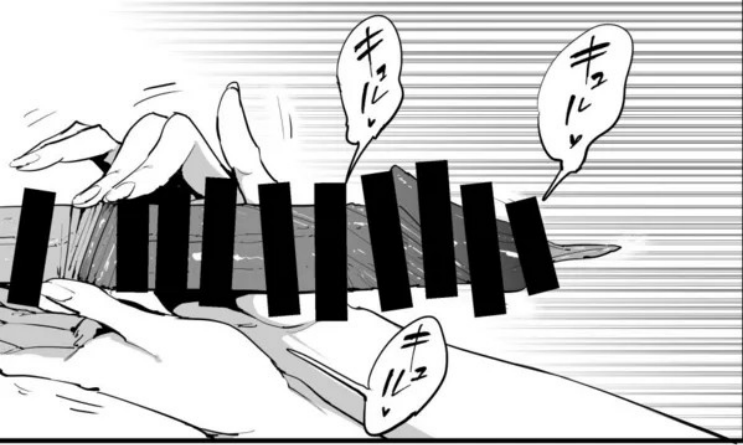
ちんぽ♥

ちんぽおおお  
おおお♥  
おおお♥  
おおお♥

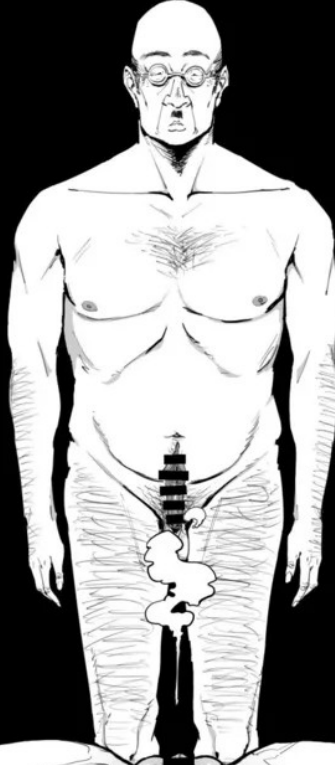
おおお♥  
ナニコレ  
すっげ♥  
ちんぽ溶けっ♥  
♥♥♥







ぶっ♡



ひく…  
ひく…



ブチ犯してやるっ♡  
今更ナシなんて言ってももう逃がさんからなっ♡

このメス豚が♡



.....  
とうとう  
やったっ♡

許せ息子♡

わしお前の女に  
ちんぽ入れてます♡

膣の奥まで  
ちんぽ圧で  
満たされるっ♡

ハメていいのは  
ちんぽだけっ♡

やっつっつ  
やっつっつ  
やっつっつ♡

入れただけで  
甘イキしたっ♡

やっぱりこの穴は  
ちんぽ専用っ♡

きゅん♡

きゅん♡

その為だけに  
神様が作った  
スケベ穴♡

ちんぽ穴♡♡

三ヶ月ぶりの  
生ちんぽ♡

本物ちんぽ  
やっつっつ♡

あ...やばい...スケベ  
なこと考えてたら  
イキ圧上がってきた...

今動かれたら  
マジイキする...

こっけイキた

い♡

こっけ

あっ

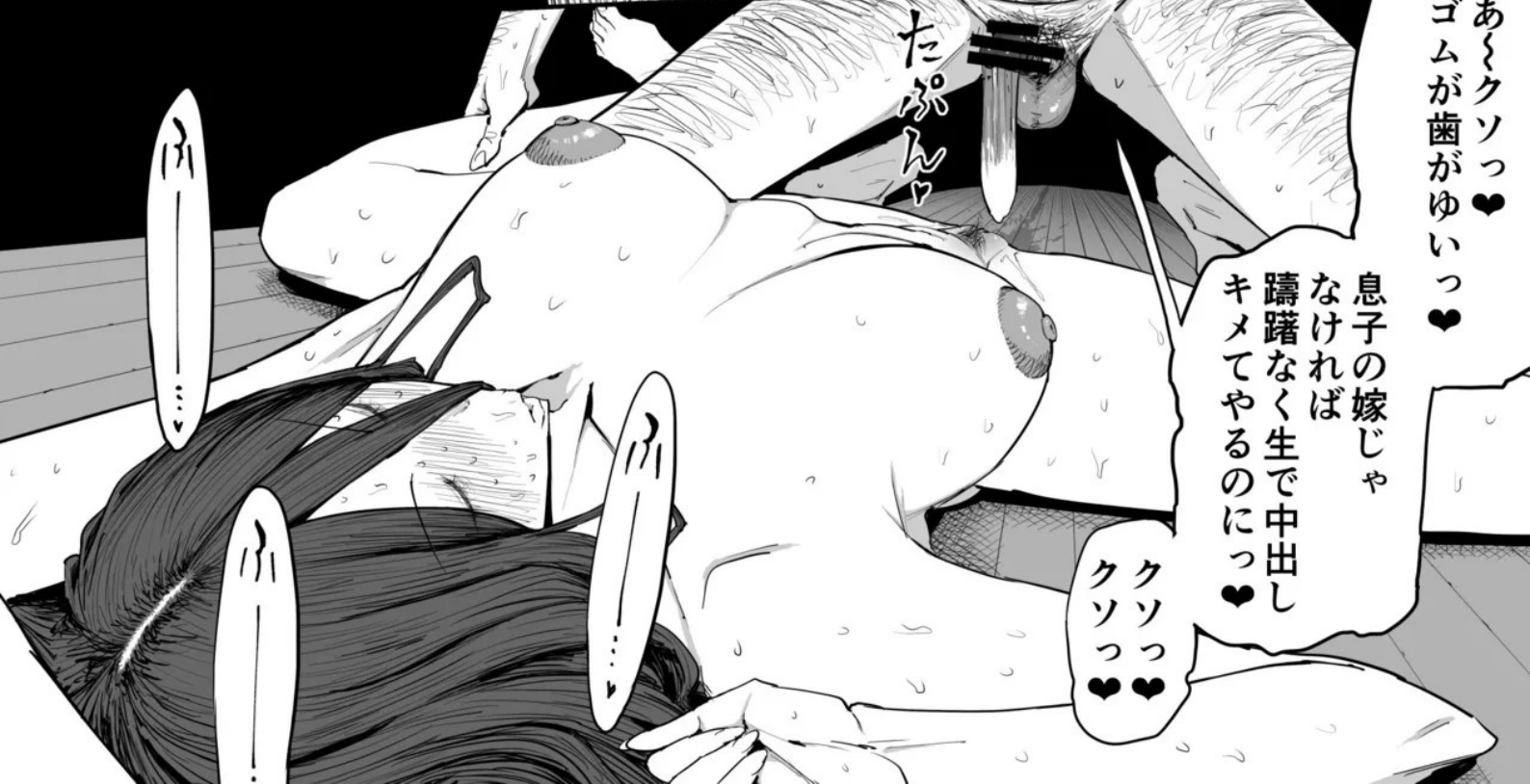
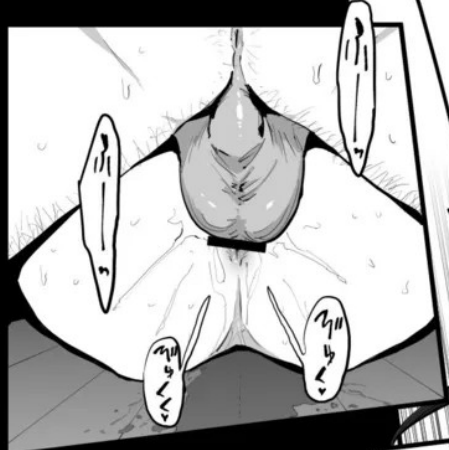
あ!こらっ!!  
無許可で勝手に  
イくなっ!!  
イクときは  
わしに申告  
しろっ!!

「イキます♡」  
って先に言え  
バカっ♡









あくクソっ♡  
ゴムが歯がゆいっ♡

息子の嫁じゃ  
なければ  
躊躇なく生で中出し  
キメてやるのにつ♡

クソっ♡  
クソっ♡

たがん♡

クソっ♡

クソっ♡

相性というのがセックスにもあると聞く

本当に  
そうなのだと思う

その日私は  
人生で一番の  
セックスをした



ええい...  
こんな  
もの...

義父と出会えた  
ことが奇跡に  
思えるほどだった



私はこの家に  
嫁ぐべくして  
嫁いだのだ

運命を信じても  
いいと思えた

...あつ♡

.....



パッポ  
パッポ  
パッポ  
横断中







あっあっ  
ばかっ  
激しっ

朝一剥きたての  
敏感なちんぽに  
なんてことすんだオイっ

おおっ  
イキ庄に  
逆らえない...

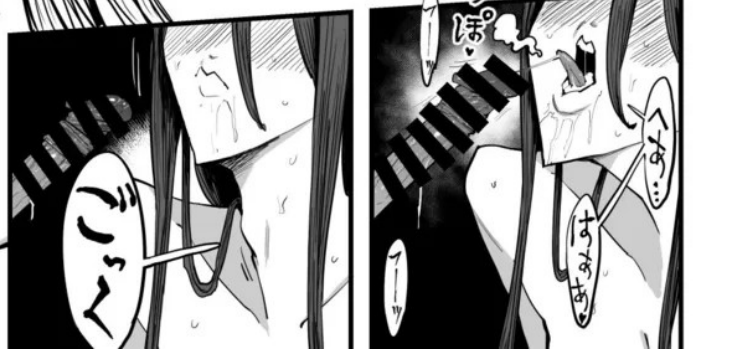
ガキの  
お漏らしみたい  
無様にイクっ...

どや  
どや



あっ  
出

くさ







黒崎さんですか？

ヒーローですよ！

うちの子が  
怪我をして  
動けなくなっ  
ているところを  
助けていただいた  
ことがあるんです

息子の命の  
恩人です

ええもちろん  
感謝しています

この地域で大きな  
犯罪がないのも  
あの方のおかげでしょう

安心して  
暮らせています

憧れの先輩ですよ

もう少し一緒に  
働きたかった  
というのが本音です

警察官の鑑の  
ような方ですから









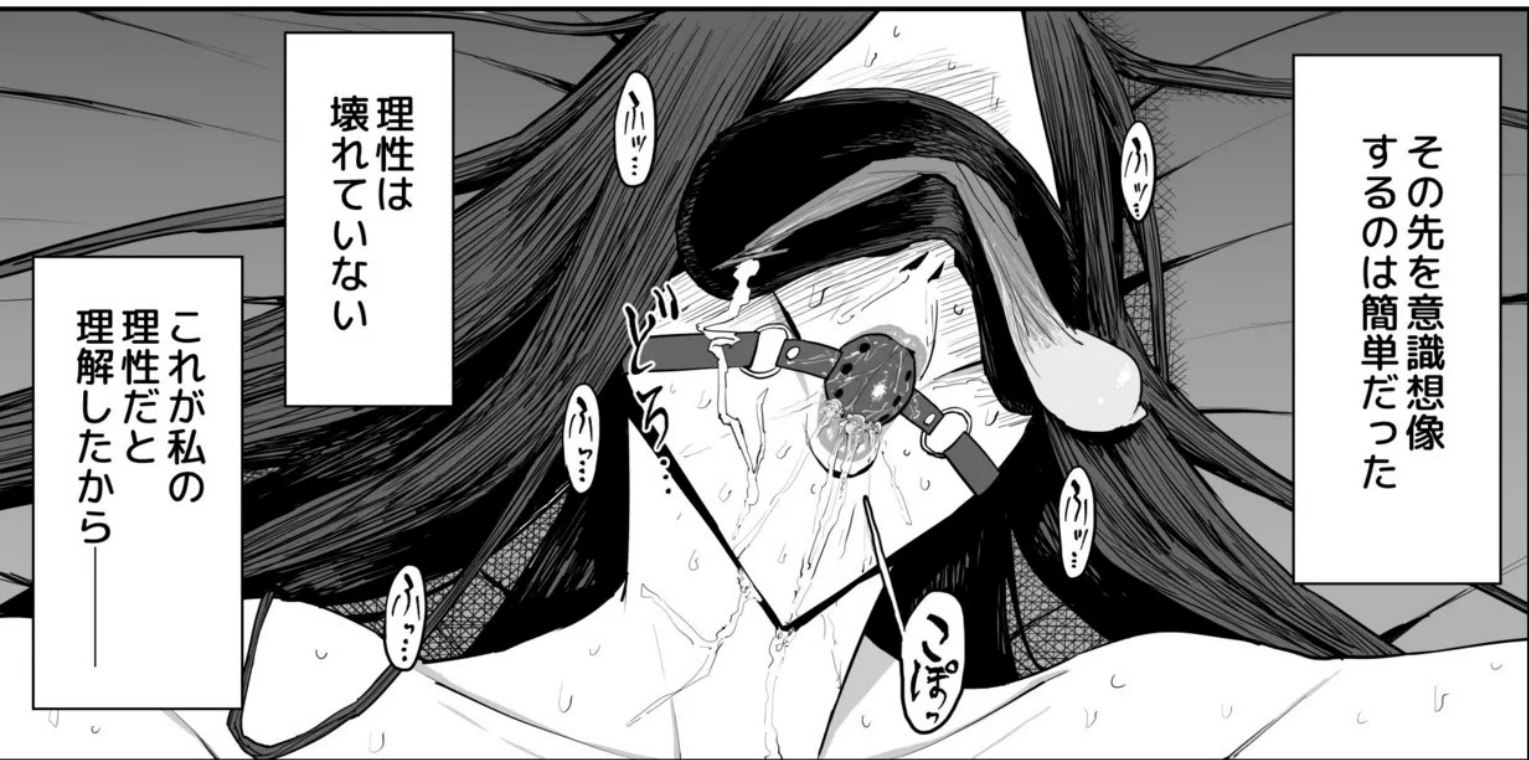
私と義父はこの関係に  
沼のようにハマっている  
ということ

そして  
沼にはまだ  
先があること

カキカキ  
カキカキ  
カキカキ



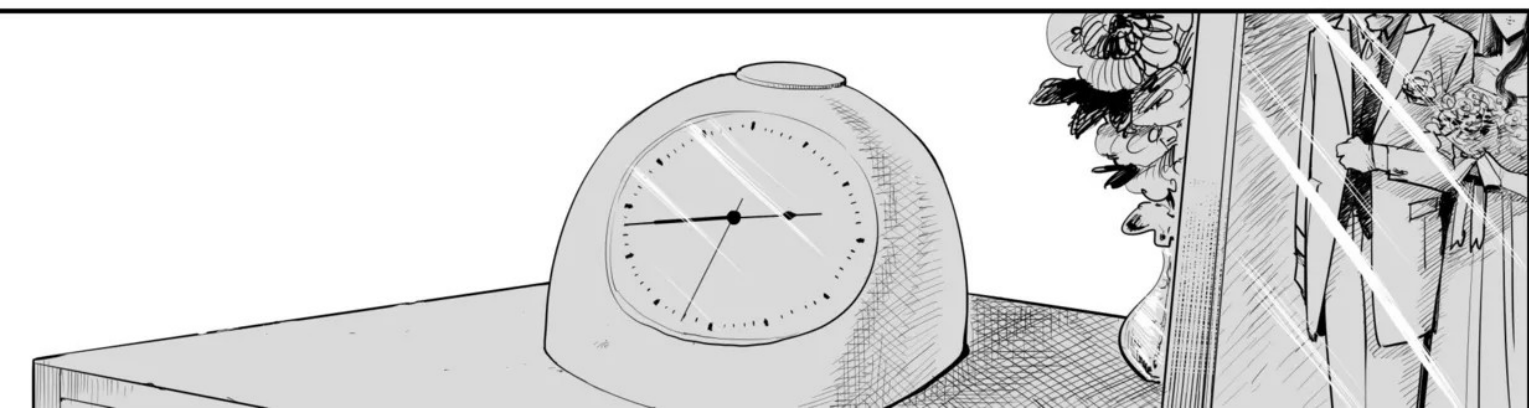
このとき  
分かっていたこと

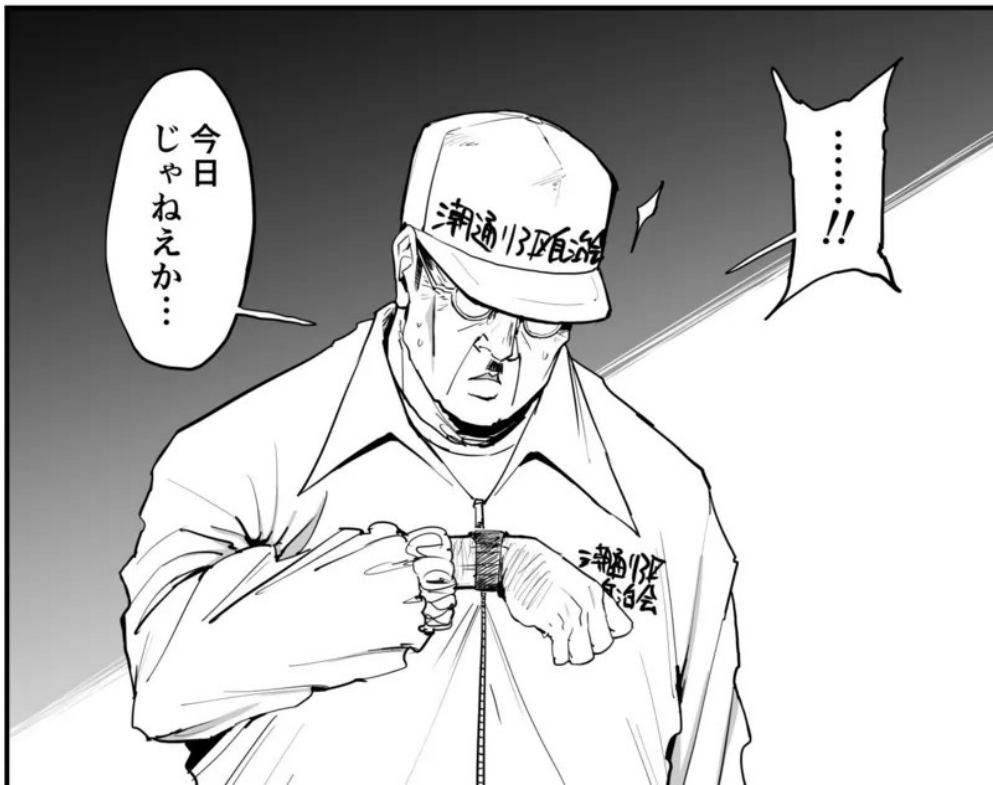
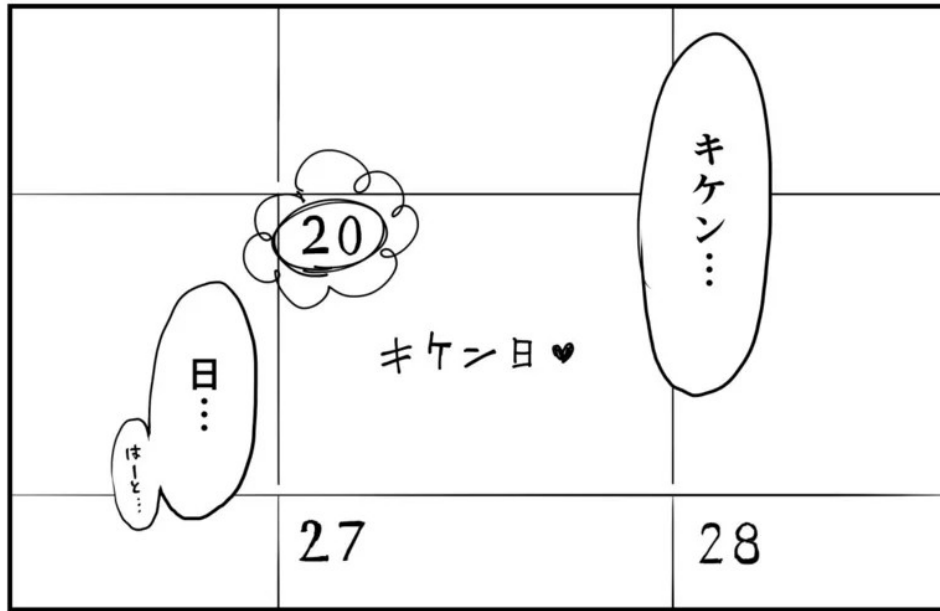
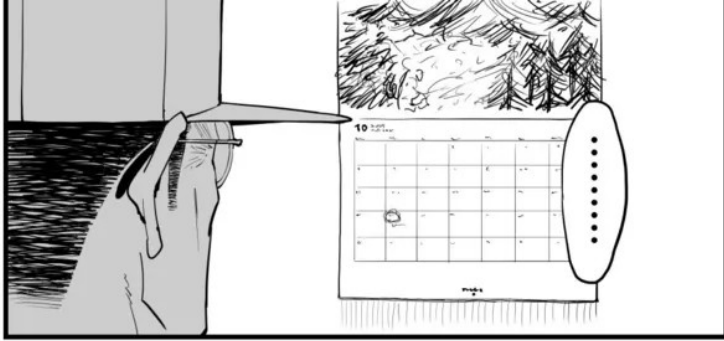


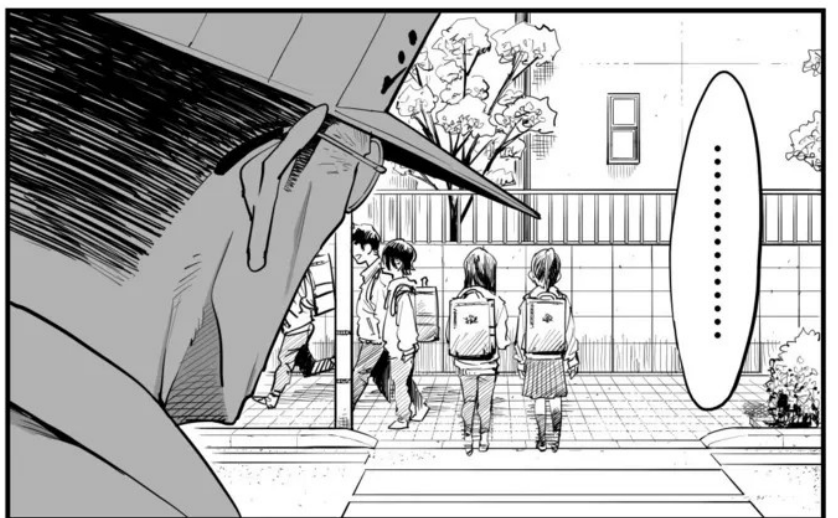
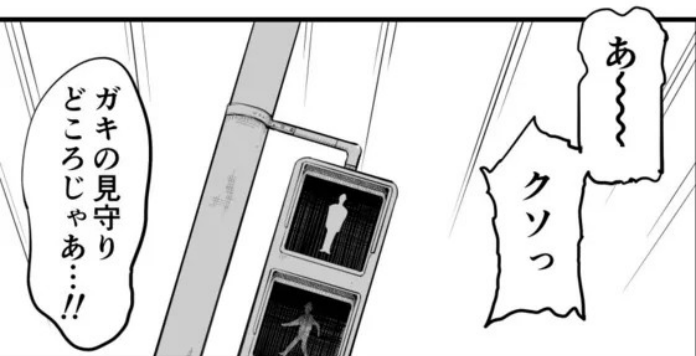
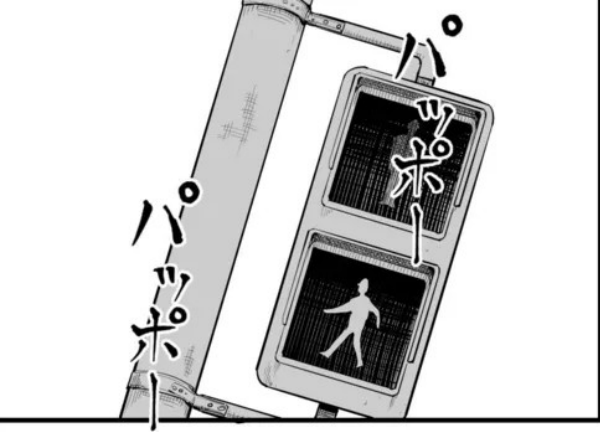
その先を意識想像  
するのは簡単だった

理性は  
壊れていない

これが私の  
理性だと  
理解したから――







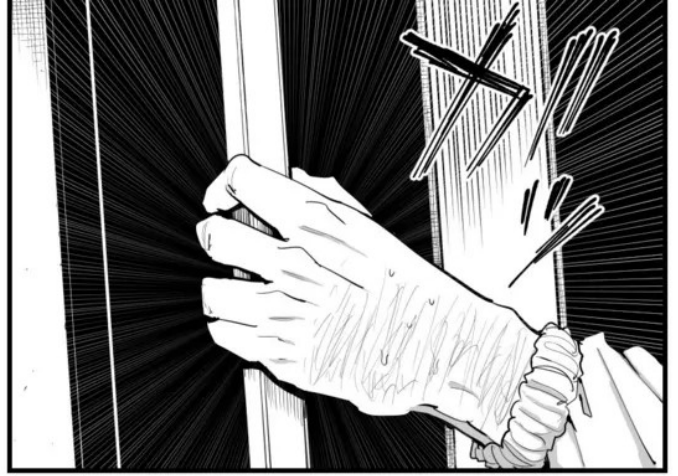
響子……っ

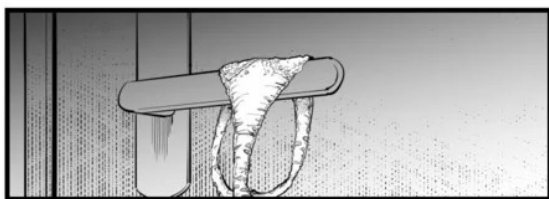
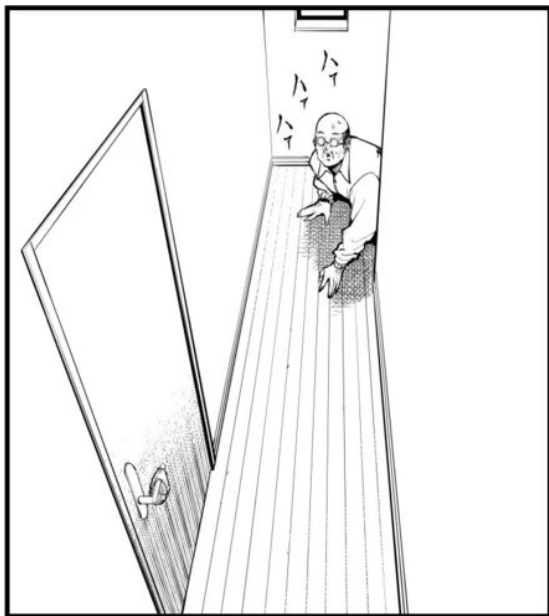
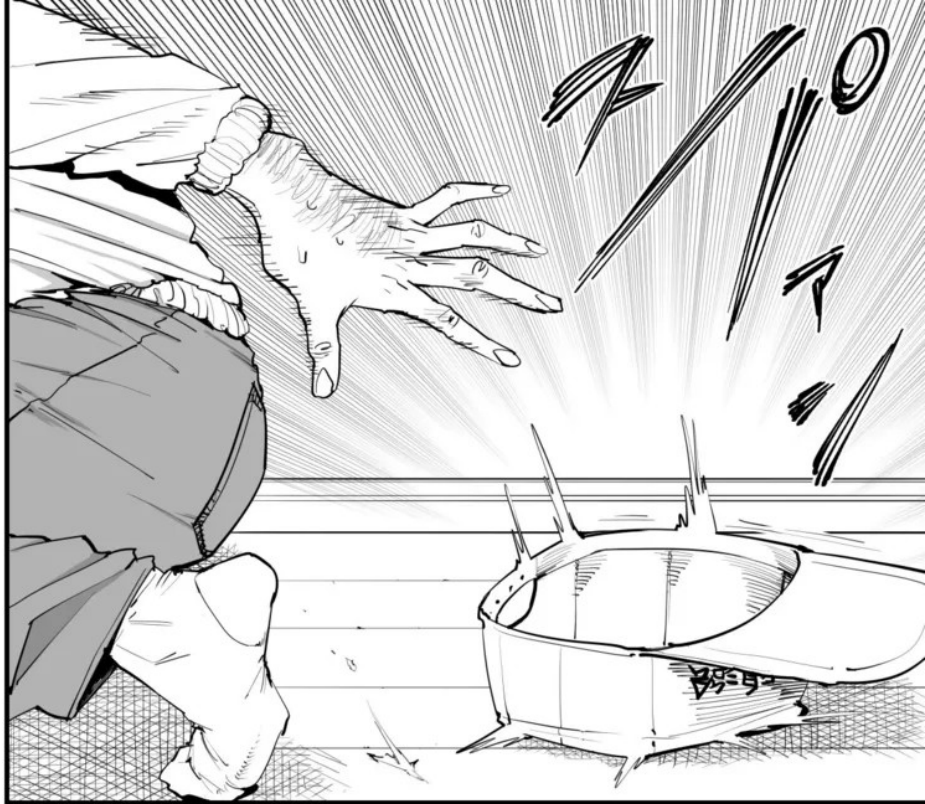
響子……っ

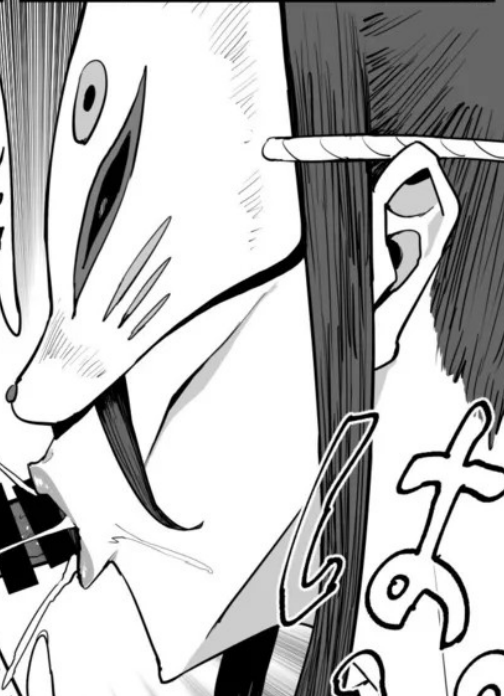
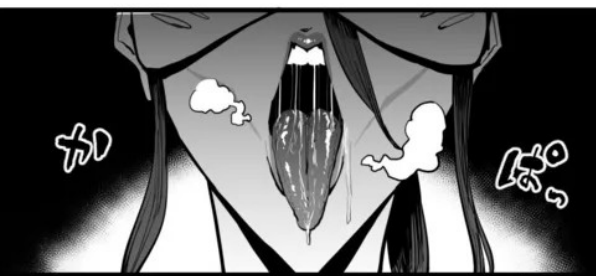
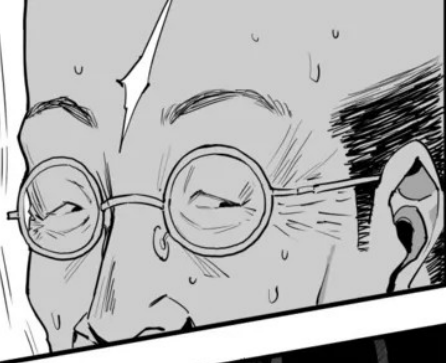
響子……っ

響子——ッ!!!



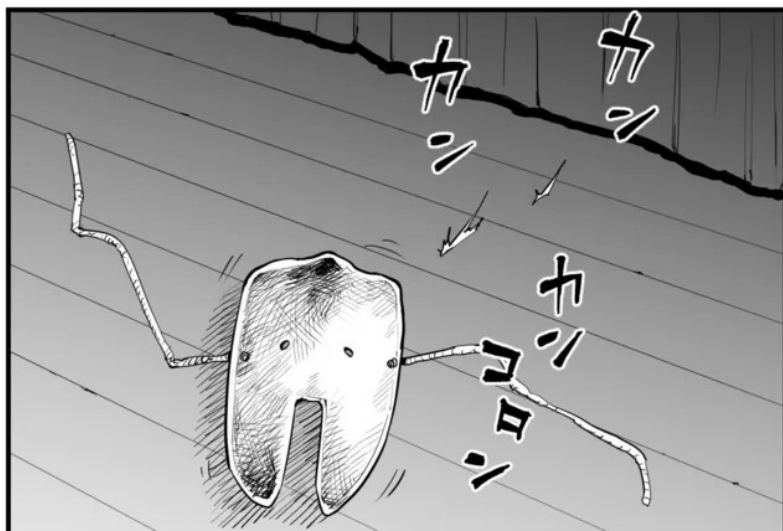
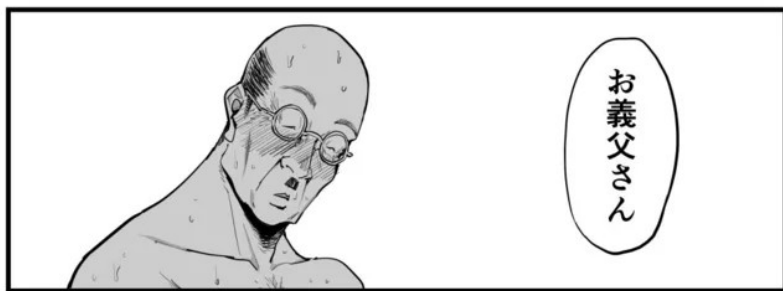














赤ちゃん…

シて…♡



響子に

シて…♡



この女を  
孕ませる…♡

息子よりも先に  
わしの子を  
孕ませてやる…♡





#王  
#振  
ち

生  
ち

生  
ち

生  
ち

生  
ち

生  
ち

生  
ち

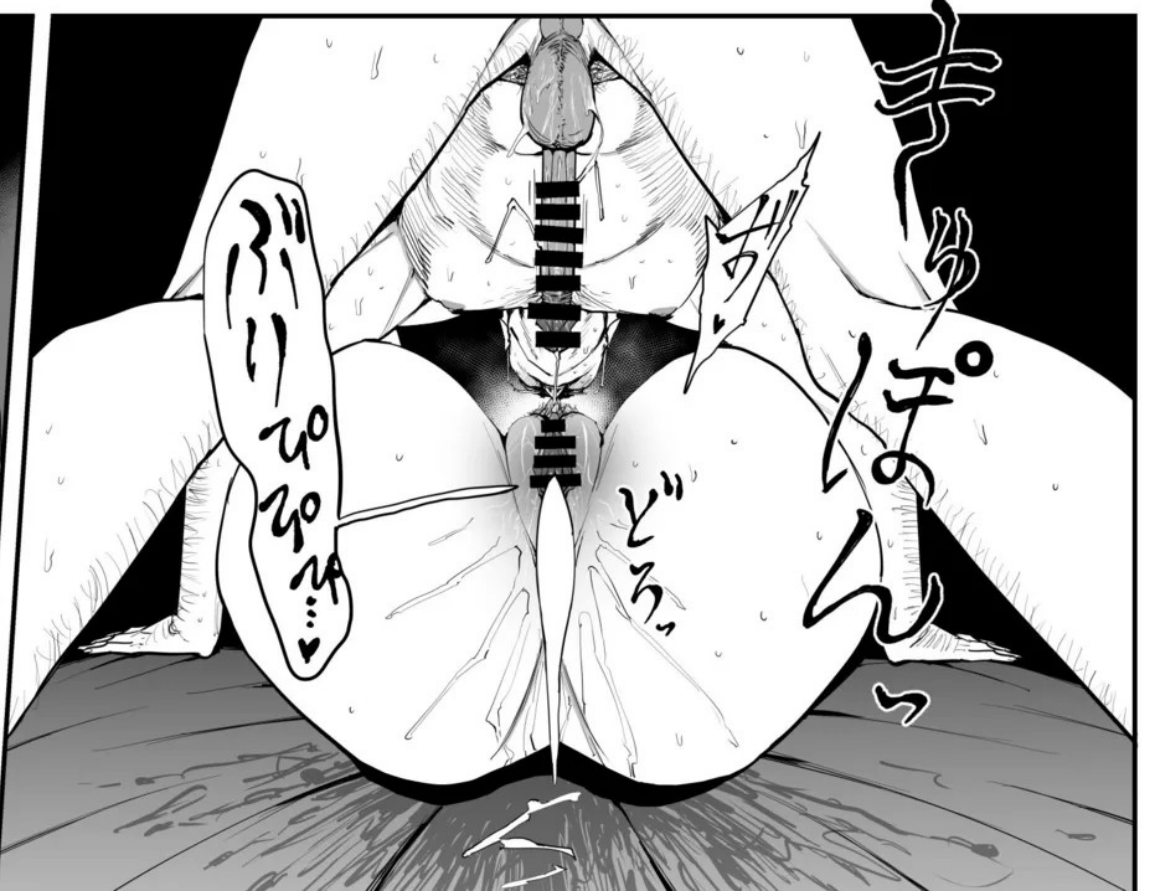
生  
ち

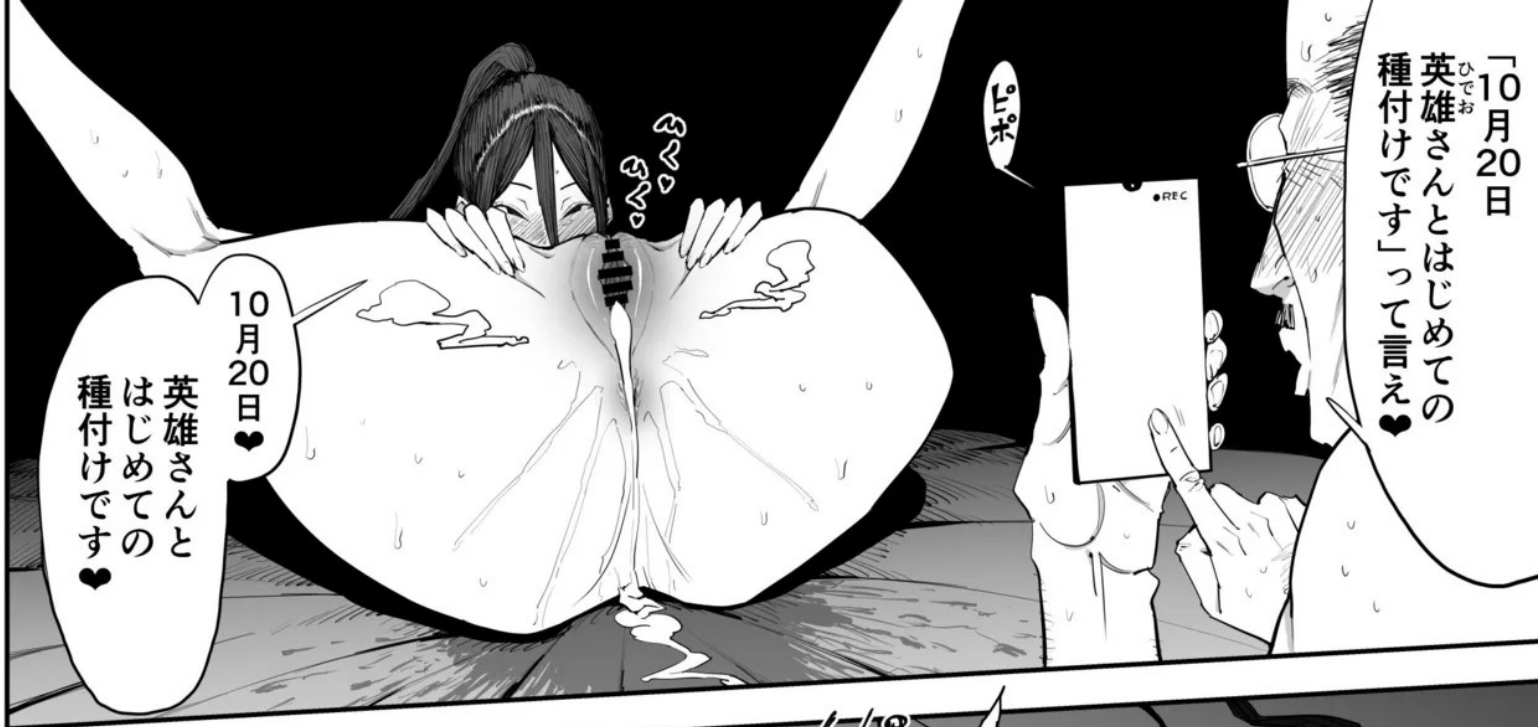
生  
ち

生  
ち

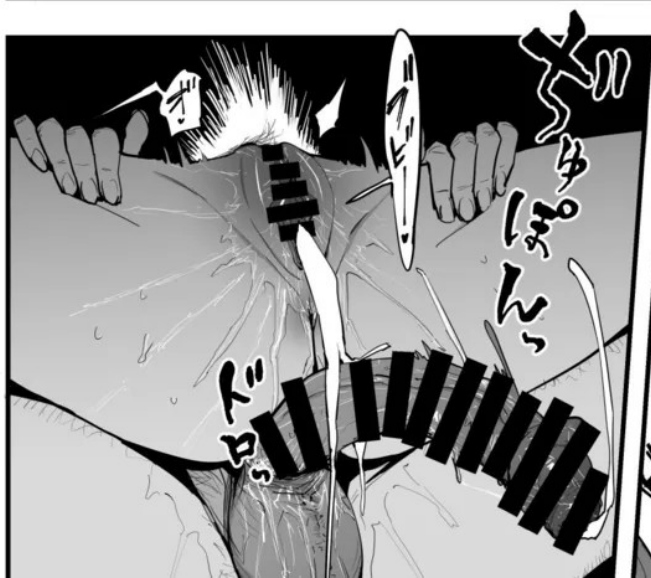
生  
ち

生  
ち









奥  
赤ちゃんの  
部屋

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

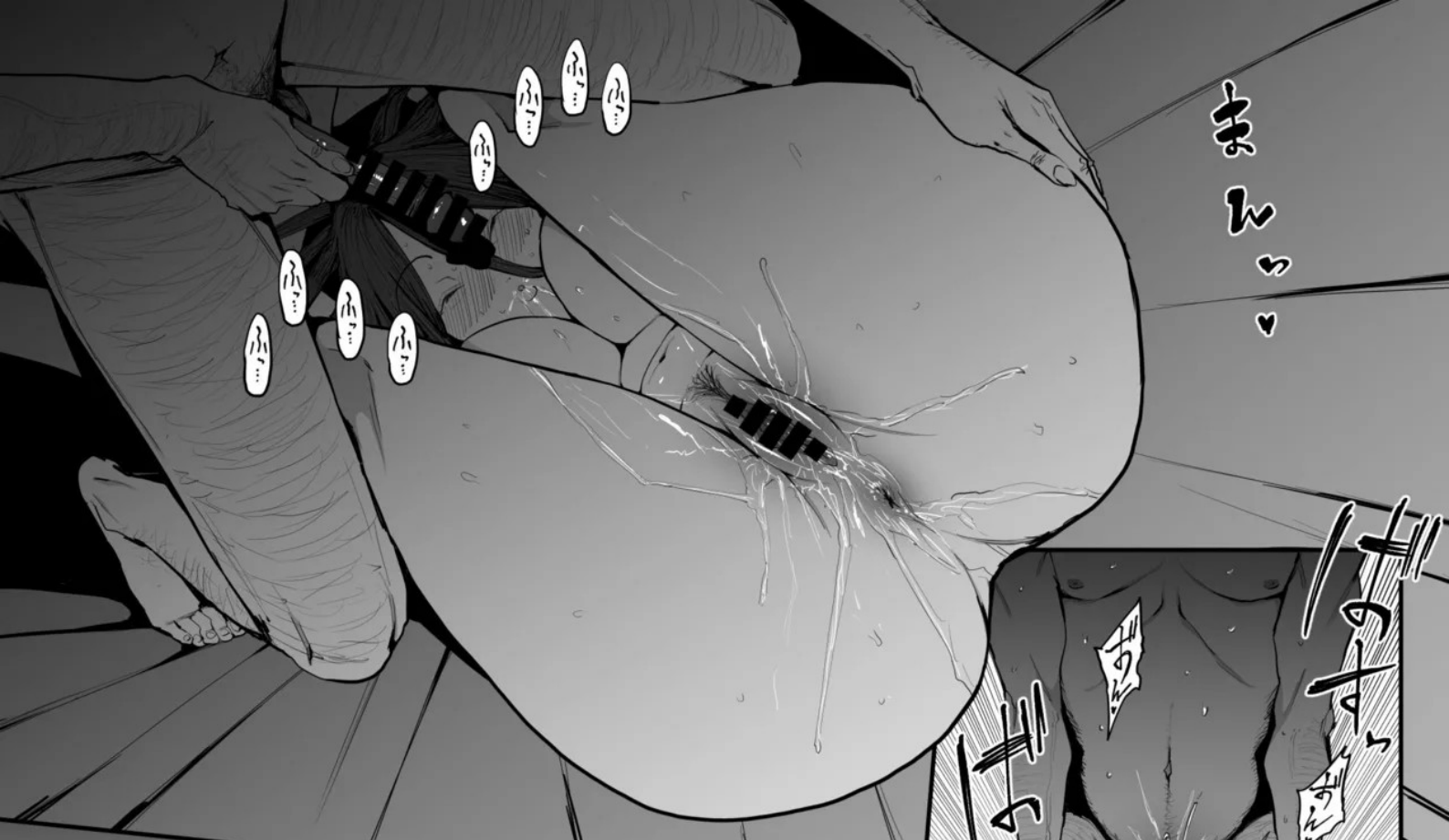
お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お

お  
お  
お



まん♡♡♡



ズンズン




おら  
響子撮るぞっ♡  
ピースピースう♡



拝啓  
あなたへ


きっかけは  
数ヶ月前まで  
遡ります






この動画を見ている  
ということとは  
既に他の写真や動画にも  
目を通したかと思えます

先に言っておきますが  
私の頭がおかしく  
なったりわけでも  
誰かに脅されている  
わけでもありません

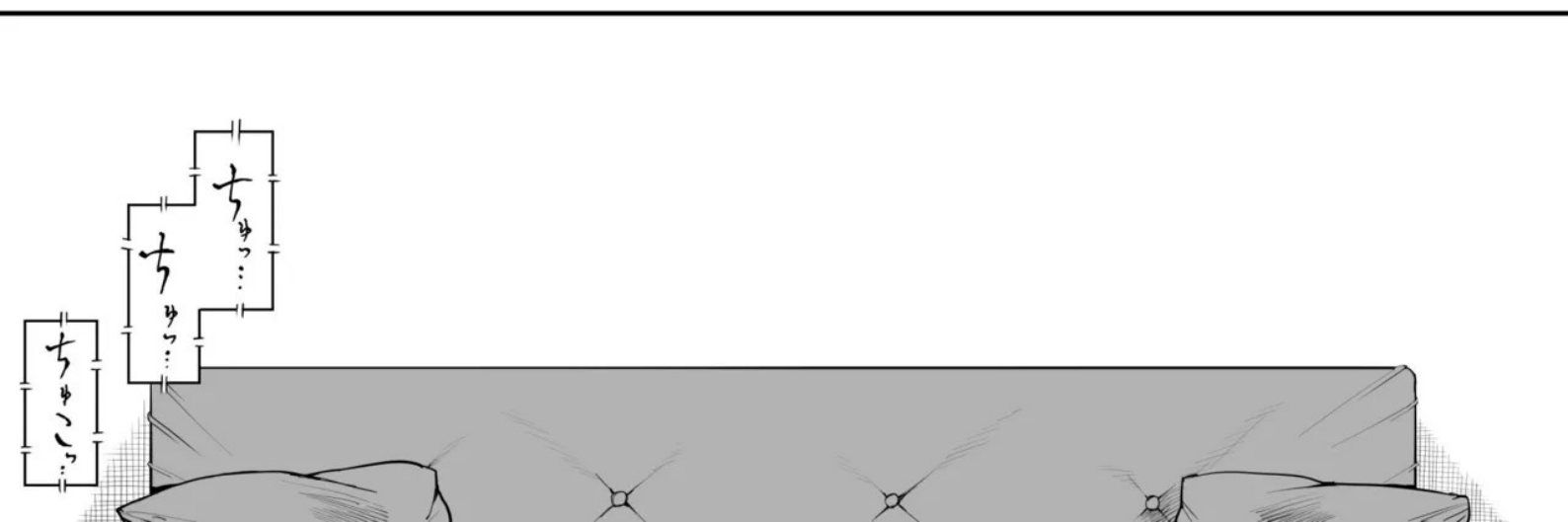
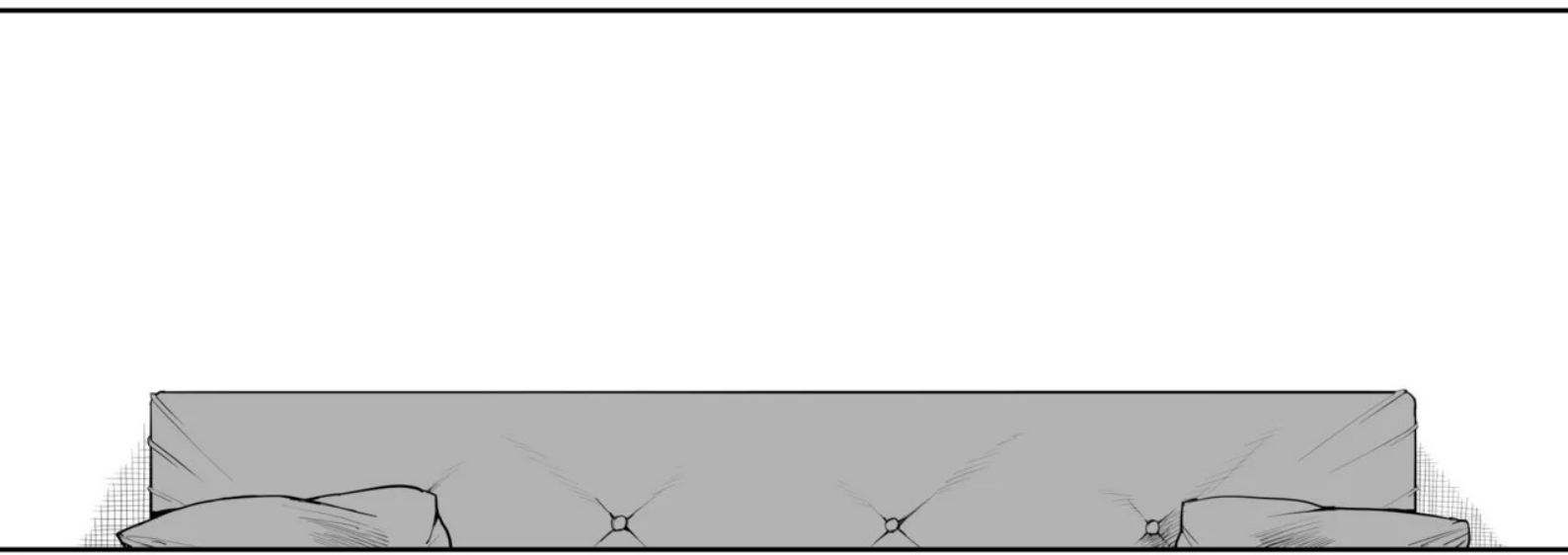
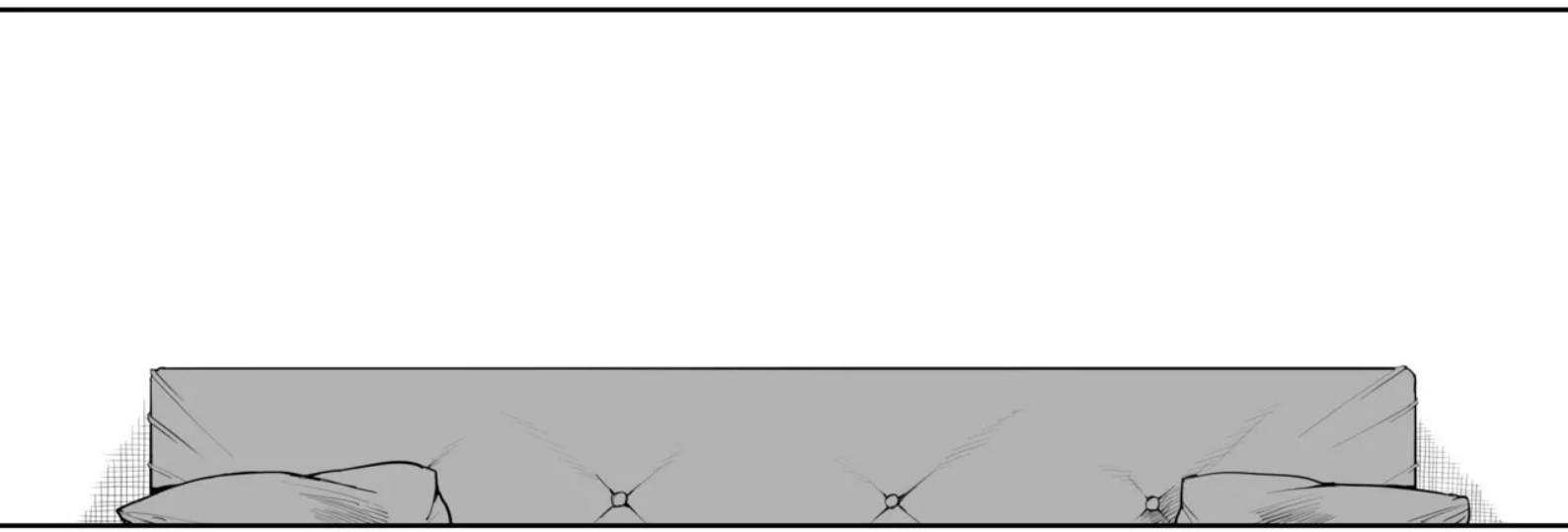
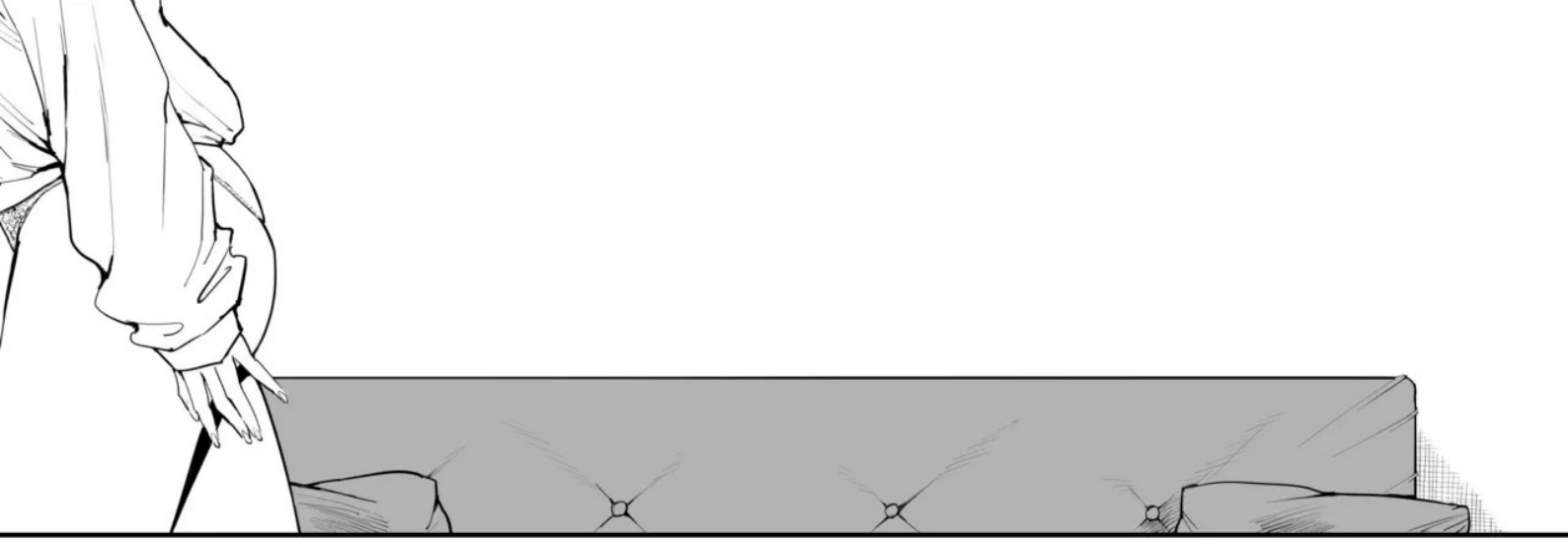


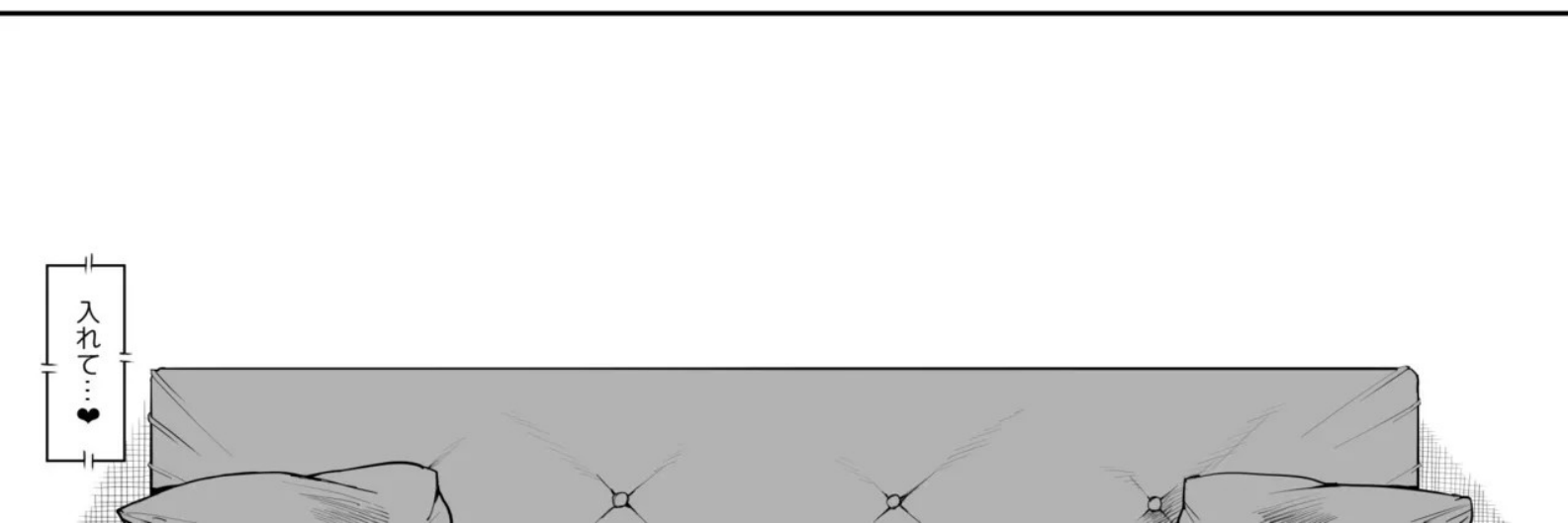
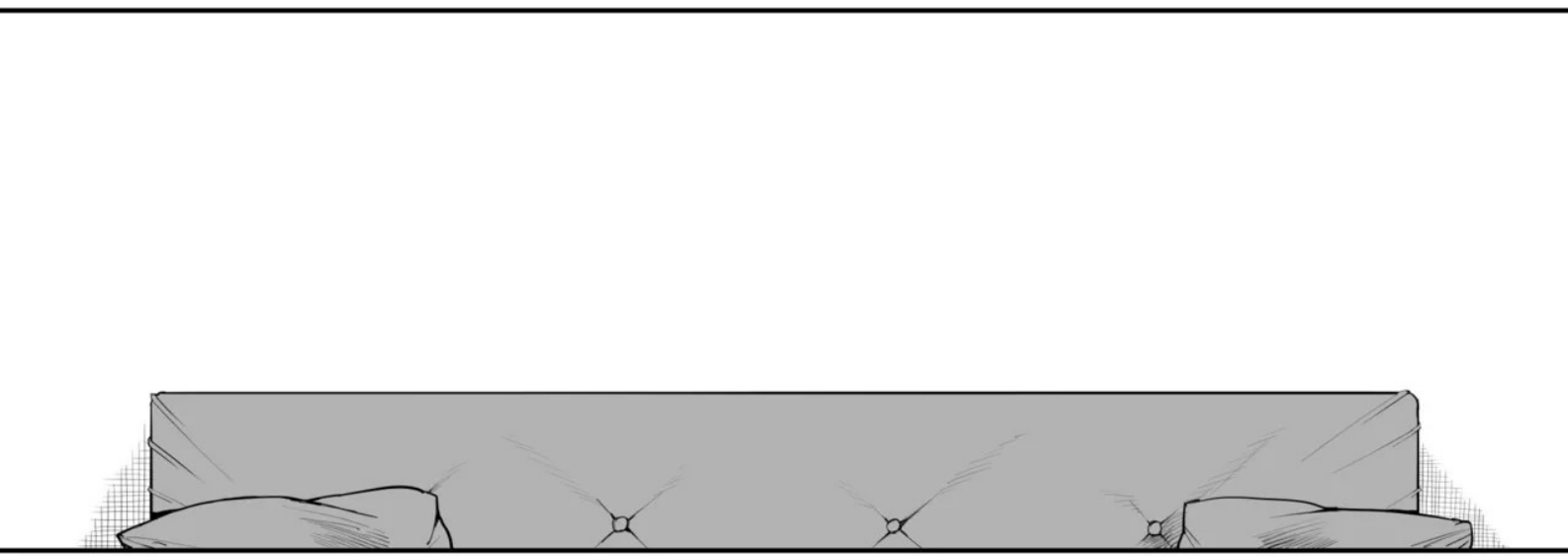
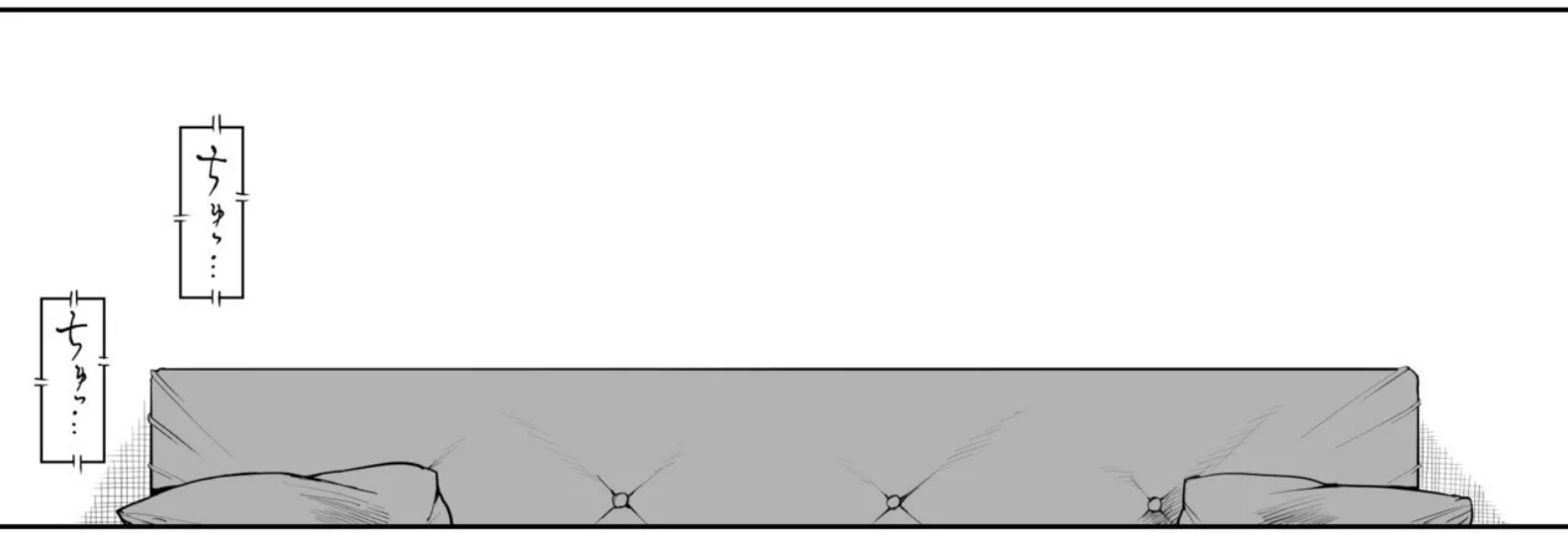
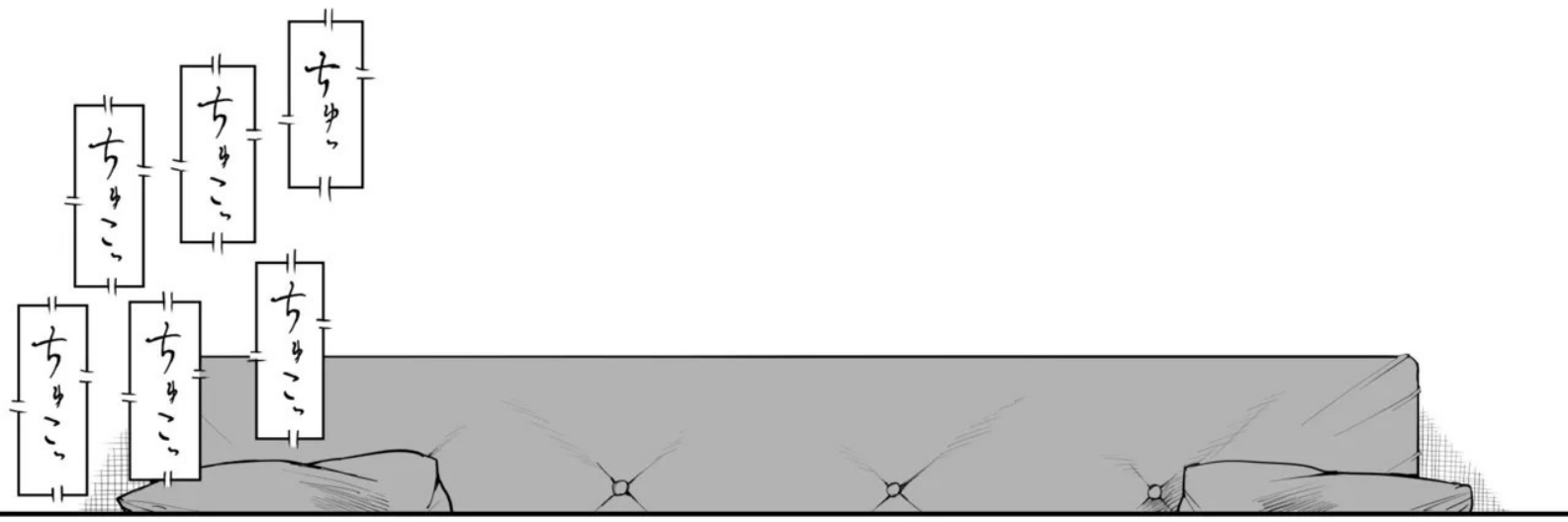
隠そうかとも  
考えましたが

あなたが  
帰ってきたとしても  
この関係は  
続けたいと思い  
伝えることにしました

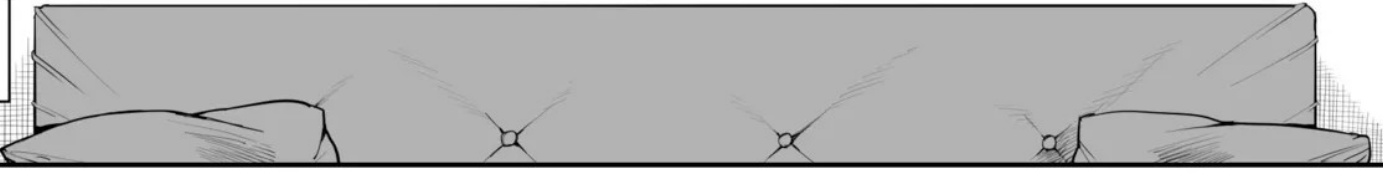








…すし



おッ

おッ

おッ

おッ

おッ

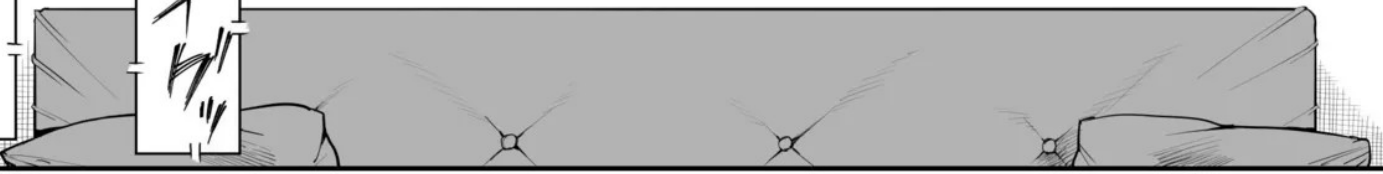


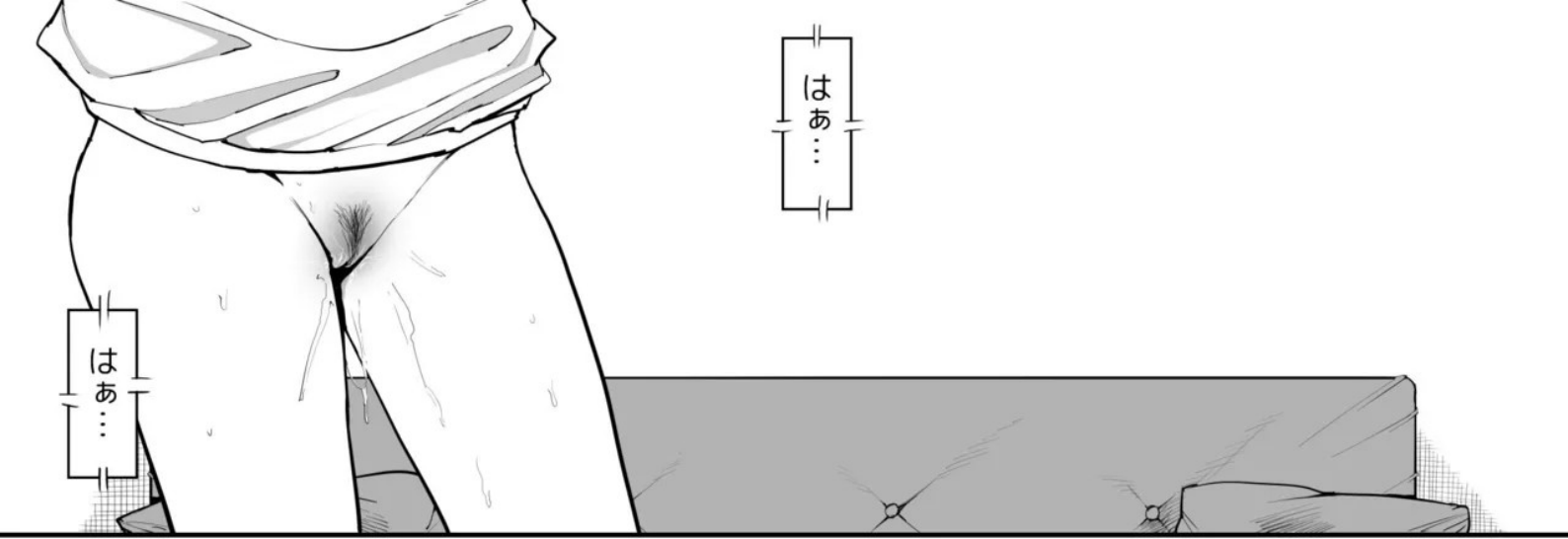
イッ  
クッ

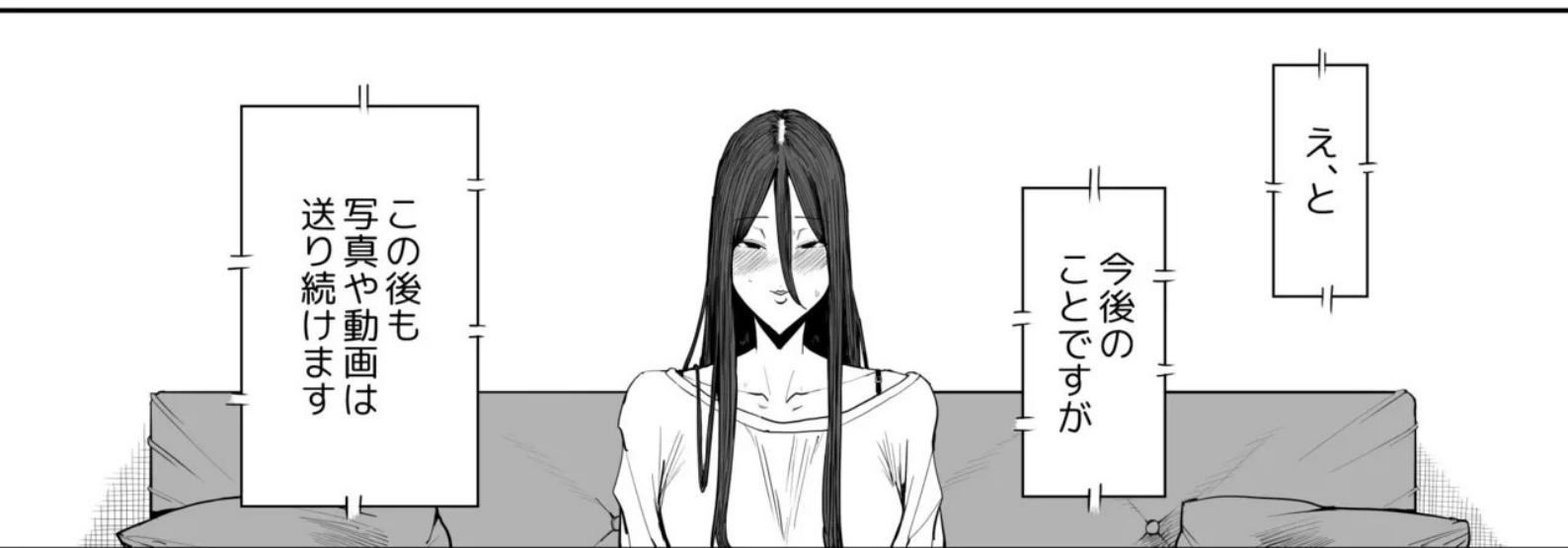
イッ  
クッ

イッ  
クッ

イッ  
クッ  
クッ  
クッ  
クッ










それと、ね


これは伝えるか  
本当に迷ったん  
だけど



でも遠からず  
知ることにな  
ると思うから


ちゃんと  
私の口から  
伝えておきます





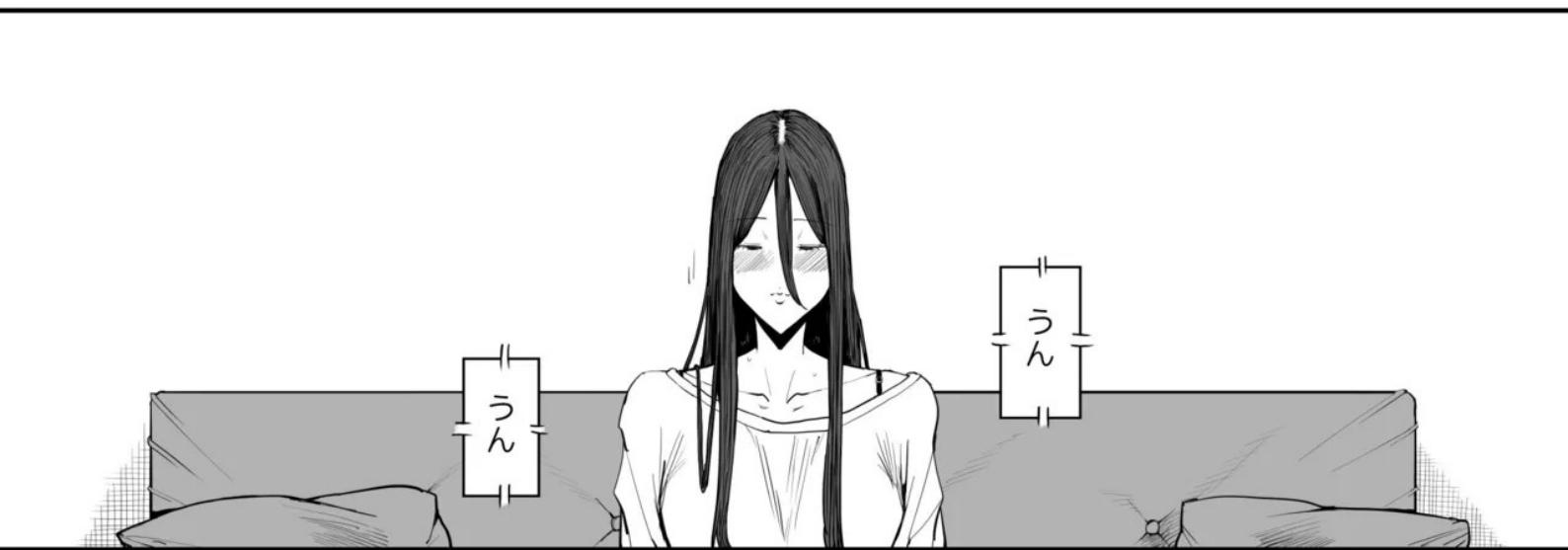
ひでお  
英雄さんの  
子供を  
産みます…!!

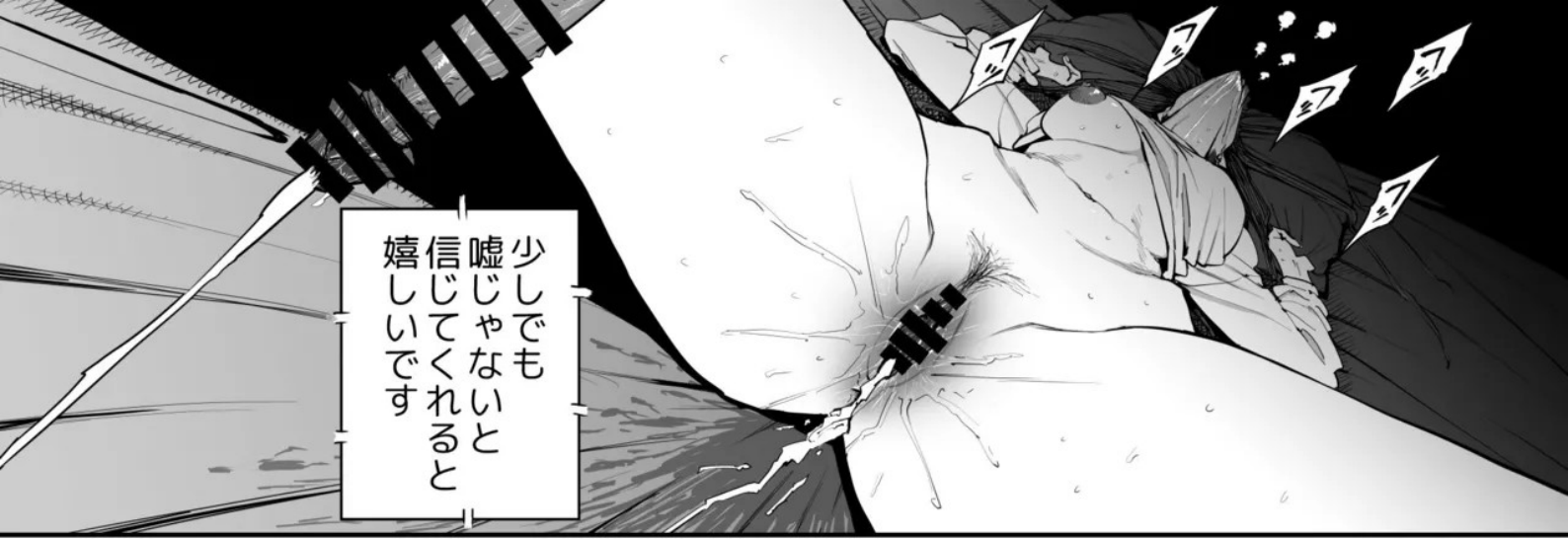
私、



言っちゃった

あーあ…





少しでも  
嘘じゃないと  
信じてくれると  
嬉しいです



突然のことで  
驚かせてしまった  
と思います

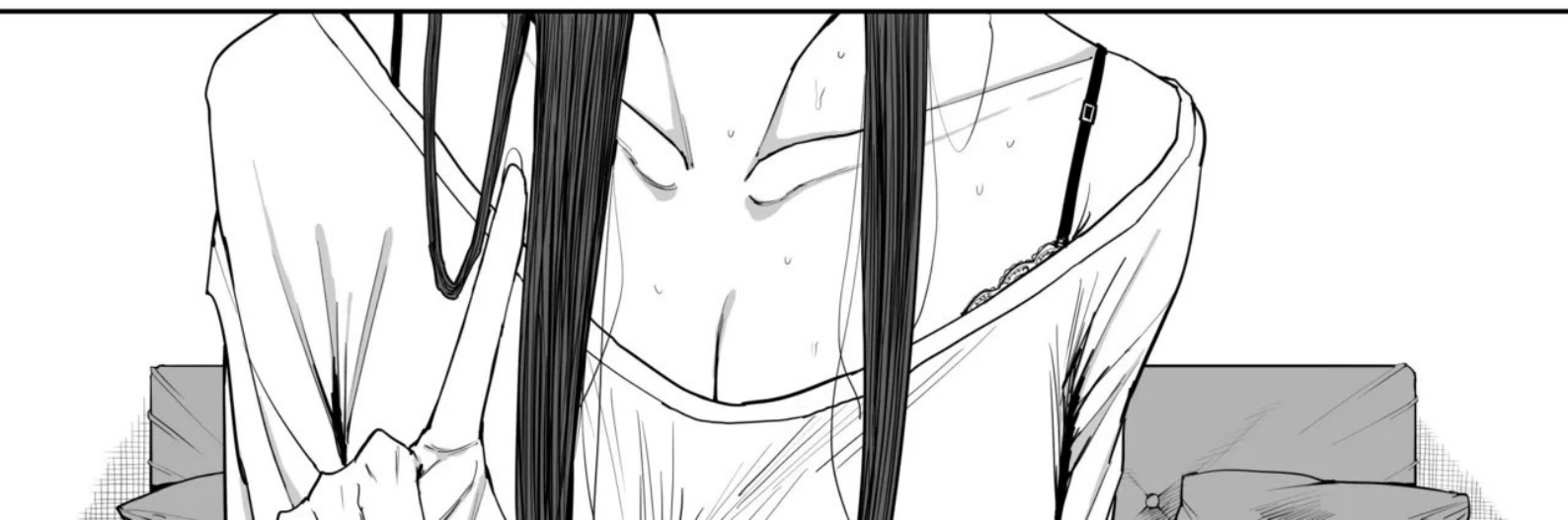
これを聞いても  
今まで通り一緒に  
いいというのなら  
私もそのまま  
構いません

遅くなっても  
いいので  
いつでも連絡  
待っています

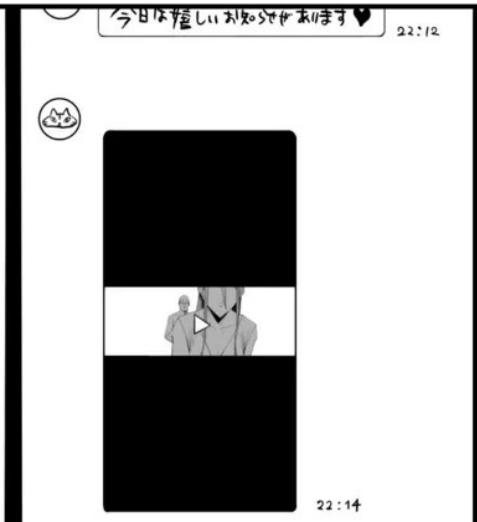
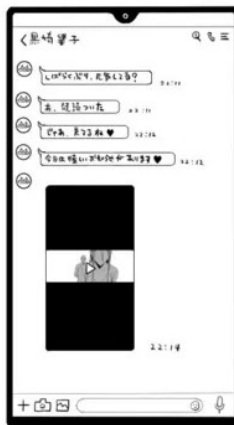


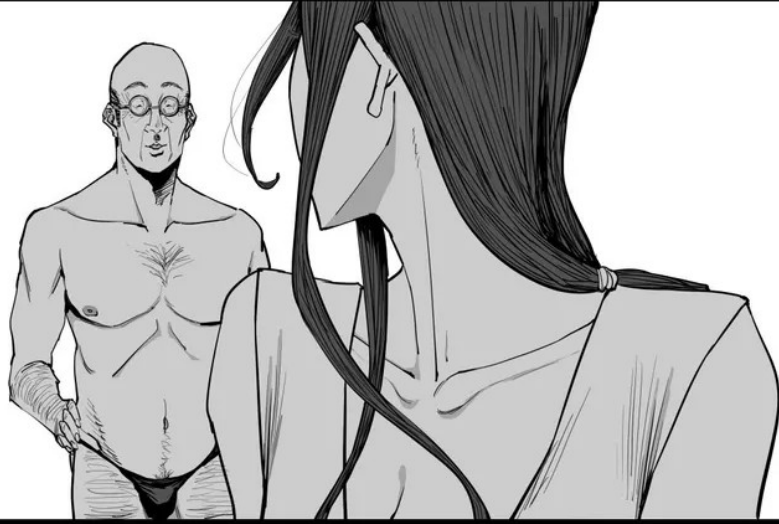
あなたの妻

響子より

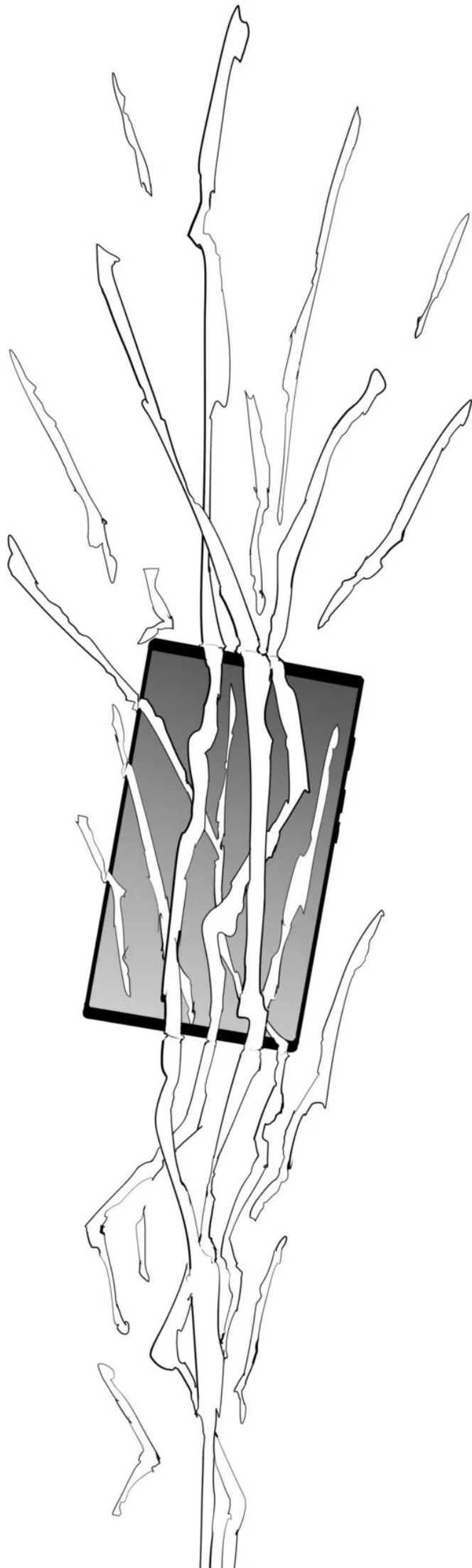












**END**

# 息子の嫁に迫られたなら

サークル・著者：しおじ

pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=541114>

X : <http://twitter.com/shioji618>

mail : [shioji618@gmail.com](mailto:shioji618@gmail.com)

発行日/2025.2.22.



- この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。
- この本にある画像・文章・内容等の全てを無断で転載することを禁じます。
- この物語はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。